RFID SLED



ユーザー ガイド



著作権

ZEBRA および図案化された Zebra ヘッドは、Zebra Technologies Corporation の商標であり、世界各地の多数の法 域で登録されています。その他のすべての商標は、該当する各所有者が権利を有しています。©2019 Zebra Technologies Corporation および/またはその関連会社。無断複写、転載を禁じます。

著作権と商標 : 著作権と商標情報の詳細については、<u>www.zebra.com/copyright</u> でご確認ください。

保証:保証情報の詳細については、<u>www.zebra.com/warranty</u> でご確認ください。

エンド ユーザー ソフトウェア使用許諾契約 : EULA 情報の詳細ついては、<u>www.zebra.com/eula</u> でご確認ください。

オーストラリアのみ

以下の記述はオーストラリアにのみ適用されます。本保証は、Zebra Technologies Asia Pacific Pte. Ltd. (住所: 71 Robinson Road, #05-02/03, Singapore 068895, Singapore)が規定するものです。当社の製品には、オーストラリ ア消費者法に基づいて除外できない保証が付帯しています。購入者は、重大な故障に対する交換または返金、お よびその他の合理的に予見できる損失または損害に対する補償を受ける権利があります。また、商品が許容品質 ではないが、その故障が重大な故障にならない場合、購入者は、商品の修理または交換を受ける権利があります。

前述の Zebra Technologies Corporation Australia による限定的保証は、オーストラリア消費者法によって定めら れた権利および賠償に加えて提供されます。ご質問がある場合は、Zebra Technologies Corporation までお電話 (+65 6858 0722) でお問い合わせください。また、最新の保証条件は、<u>www.zebra.com</u> でご確認いただけます。

使用条件

所有権の宣言

このマニュアルには、Zebra Technologies Corporation およびその子会社(「Zebra Technologies」)の専 有情報が含まれています。このマニュアルは、本書に記載されている機器を操作および保守する当事者へ の情報の提供とその当事者の限定使用のみを目的としています。このような専有情報を、Zebra Technologies の書面による明示的な許可なしに、その他の目的のために使用したり、複製を行ったり、ま たは他の当事者に開示することはできません。

製品の改善

製品の継続的な改善は、Zebra Technologies のポリシーです。すべての仕様や設計は、予告なしに変更さ れる場合があります。

責任の放棄

Zebra Technologies では、公開されているエンジニアリング仕様およびマニュアルに誤りが含まれてい ないよう、万全の対策を講じていますが、まれに誤りが発生することがあります。Zebra Technologies で は、このような誤りが発見された場合にそれを修正し、その誤りから生じる責任を放棄する権利を有して います。

責任の限定

いかなる場合においても、Zebra Technologies または付属の製品 (ハードウェアおよびソフトウェアを含 む)の作成、製造、または配布に関わるその他の関係者は、本製品の使用、使用した結果、または使用で きなかった結果により生じるすべての損害 (業務利益の損失、業務の中断、または業務情報の損失を含む 派生的損害を含むがそれに限定されない)に対し、Zebra Technologies がそのような損害の発生する可能 性を通告されていた場合でも、一切責任を負いません。法域によっては、付随的損害または派生的損害に 関する責任の除外または限定を認めていない場合があります。その場合、お客様には上記の限定または除 外は適用されません。

改訂版履歴

元のマニュアルに対する変更を次に示します。

変更	日付	説明
-01 改訂版 A	2017 年 12 月	初期リリース
-02 改訂版 A	2018 年 5 月	改訂版 B ソフトウェア アップデート : - 「RFID Manager を StageNow にインポート」章の名前を 「RFID Manager StageNow プラグイン」に変更 - 「RFID Manager StageNow プラグイン」章の内容更新
-03 改訂版 A	2018 年 11 月	技術仕様を追加。
-04 改訂版 A	2019 年 11 月	 著作権宣言文を更新 Android の章における Zebra RFID Mobile アプリケーションを 削除 新しい 123RFID Mobile アプリケーション ガイドの参照を追加 RFID Scan-Write の章を削除



著作権	2
オーストラリアのみ	2
使用条件	. 2
改訂版履歴	

このガイドについて

はじめに

はじめに	10
パッケージの開梱	10
RFID スレッドの機能	11
LED の定義	12
充電中の RFD2000 LED の定義	12
充電中以外の RFD2000 LED の定義	12
LED の意味	13
RFID スレッドのバッテリの交換	14
バッテリの取り外し	14
バッテリの取り付け	15
モバイル コンピュータを RFID スレッドに取り付ける / 取り外す	16
モバイル コンピュータを RFID スレッドに取り付ける	16
モバイル コンピュータを RFID スレッドから取り外す	16
ストラップの取り付け	17
充電中	18
バッテリ管理	19
低バッテリ通知	19
バッテリの最適な使用方法	19
モバイル デバイス	19

Android 用の Zebra RFID Mobile アプリケーション

RFID Manager

はじめに	21
RFD2000 のセットアップ	22
Android 用 RFID Manager のインストール	22
要件	22
インストール	22
Android 用 RFID Manager の使用	22
Connection Status	23
RFID の規制	25
Settings	26
ファームウェアの更新	28
Recovery Mode	30
RFID Manager ログ	31
ビープ音の意味	32
About	32

StageNow

•	
StageNow ステージング ソリューション	[,] 33

RFID Manager StageNow プラグイン

はじめに	34
要件	34
RFID Manager CSP プラグインのインポート	35
StageNow を使用したファームウェア アップデート プロファイルの作成	37
リーダー構成の作成	42
Reset Radio と Reset to Factory プロファイルの作成	45
単一プロファイルによるファームウェアおよび規制のアップデートの適用	48

メンテナンスとトラブルシューティング

はじめに	. 49
クリーニング	. 49
使用可能な洗剤の活性成分	. 49
有害成分	. 49
クリーニング方法	. 49
クリーニングの際の注意事項	. 50
必要な材料	. 50
クレードルのコネクタのクリーニング	. 50
クリーニングの頻度	. 50
メンテナンス	. 51
RFD2000	. 51
バッテリ	. 51
技術仕様	. 52

ノノルシューティ ノゾ	
トラブルシューティング	54
LED モード 2 による RFD2000 RFID スレッドのトラブルシューティング	56

Data Dictionary

はじめに	57
RFD2000 の属性	57
属性の定義	57
インベントリ コマンド構成	58
タグ選択構成	51
タグ クエリ構成	55
タグ アクセス構成	6
リージョン構成	6
周辺機器構成	'1
トリガー構成	'1
ASCII 構成	'2
タグ アクセス基準構成	'4
Locate Tag 構成	'6
Dynamic Power 構成	'6
デューティ サイクル構成	'6
電力モード構成	'7
[Unique Tag Reporting]	'8
その他の RFID 構成	'8
システム構成	'8
アクション値	'9

索引

このガイドについて

はじめに

本書 『RFD2000 RFID スレッド ユーザー ガイド』は、RFID スレッドの一般的な使い方を示したものです。

構成

表1 RFD2000の構成

構成	説明
RFD2000-1000100-US	RFID スレッド、米国
RFD2000-1000100-EU	RFID スレッド、欧州
RFD2000-1000100-JP	RFID スレッド、日本
RFD2000-1000100-IN	RFID スレッド、インド
RFD2000-1000100-KR	RFID スレッド、韓国
RFD2000-1000200-US	RFID スレッド、Inditex 社、米国
RFD2000-1000200-EU	RFID スレッド、Inditex 社、欧州
RFD2000-1000200-IN	RFID スレッド、Inditex 社、インド
RFD2000-1000200JP	RFID スレッド、Inditex 社、日本

表2 RFD2000 のアクセサリ

構成	説明
CRD1S-RFD2000-1R	シングル スロット充電クレードル
CRD5S-RFD2000-1R	5 スロット充電クレードル
BTRY-RF20GAB0E-00	予備バッテリ
BTRY-RF20GAB0E-00K	予備バッテリ、インドおよび韓国

章の説明

このガイドは、次の章で構成されています。

- **はじめに**では、RFD2000 RFID スレッドの各部の名称、バッテリの取り付け、モバイル デバイスの取り 付け、LED の意味、充電について説明します。
- Android 用の Zebra RFID Mobile アプリケーションは、新しい 123RFID Mobile アプリケーションを指し ます。
- RFID Manager では、RFD2000 で使用する TC20 Android モバイル デバイス用の Zebra RFID Manager ア プリケーションをインストールおよび設定する方法について説明します。
- StageNowでは、複雑なステージングプロファイルも容易に作成できる、この簡単なウィザードベースの ツールにアクセスするためのリファレンスを提供します。
- RFID Manager StageNow プラグインでは、RFID ファームウェアの更新プロファイルを生成し、RFID CSP プラグインを StageNow アプリケーションにインポートするために必要な手順について説明します。
- メンテナンスとトラブルシューティングでは、クリーニング、メンテナンス、トラブルシューティングの 各手順について説明します。
- Data Dictionary には、RFD2000 属性情報 (デバイスに関する構成パラメータ、監視対象データ、作成日) が記載されています。

表記規則

本書では、次の表記規則を使用しています。

- 「RFID スレッド」は 「RFD2000 RFID スレッド」を指します。
- 太字は、次の項目の強調に使用します。
 - ダイアログボックス名、ウィンドウ名、画面名
 - ドロップダウン リスト名、リスト ボックス名
 - チェック ボックス名、ラジオ ボタン名
 - スクリーン上のアイコン
 - キーパッド上のキー名
 - 画面上のボタン名
- ビュレット (•) は、次を示します。
 - 実行する操作
 - 代替方法のリスト
 - 実行する必要はあるが、任意の順番で実行できる手順のリスト
- 順番どおりに実行する必要のある手順(順を追った手順)は、番号付きの一覧で示されます。

関連するドキュメントおよびソフトウェア

以下のドキュメントおよびソフトウェアには、次のリーダーに関する詳細情報が記載されています:

- RFD2000 Quick Start Guide (p/n MN-003129-xx)
- CRD1S-RFD2000 and SHARECRADLE-MC Cradle Regulatory Guide (p/n MN-003127-xx)
- RFD2000 RFID Developer Guide (p/n MN-003158-xx)
- Zebra RFID SDK for Android Developer Guide (p/n MN-003158-xx)
- TC20 Quick Start Guide (p/n MN-003018-xx)
- TC20 User Guide (p/n MN-003020-xx)
- 123RFID Mobile アプリケーション ユーザー ガイド (p/n MN-003765-xx)
- developer.zebra.com/community/android/stagenow
- techdocs.zebra.com/stagenow/2-10/about/

このガイドを含むすべてのガイドの最新版については、次の弊社 Web サイトをご覧ください: <u>www.zebra.com/support</u>

サービスに関する情報

本機器の使用中に問題が発生した場合は、お客様の使用環境を管理する技術サポートまたはシステム サポートに お問い合わせください。本機器に問題がある場合は、各地域の Zebra グローバル カスタマー サポート センター の担当者が、次のサイトに問い合わせをします。www.zebra.com/support

Zebra サポートへのお問い合わせの際は、以下の情報をご用意ください。

- 装置のシリアル番号
- モデル番号または製品名
- ソフトウェアのタイプとバージョン番号

Zebra では、サポート契約で定められた期間内に電子メール、電話、または FAX でお問い合わせに対応いたし ます。

Zebra サポートが問題を解決できない場合、修理のため機器をご返送いただくことがあります。その際に詳しい手 順をご案内します。Zebra は、承認済みの梱包箱を使用せずに発生した搬送時の損傷について、その責任を負わな いものとします。装置を不適切な形で搬送すると、保証が無効になる場合があります。

ご使用のビジネス製品を Zebra ビジネス パートナーから購入された場合のサポートについては、購入先のビジネ ス パートナーにお問い合わせください。

はじめに

はじめに

この章では、RFD2000 RFID スレッドの部品、バッテリの取り付け、モバイル デバイスの接続、LED の意味、および充電について説明します。

パッケージの開梱

RFD2000 RFID スレッドを覆っている保護材を慎重にすべて取り外し、後で保管や搬送に使えるように、梱包箱を 保管しておきます。次の項目がパッケージに入っていることを確認します。

- RFD2000
- バッテリ
- ストラップ
- クイック スタート ガイド

破損している機器がないかどうかを確認してください。不足または破損している機器がある場合は、ただちに Zebra Support Center (Zebra サポート センター) にお問い合わせください。連絡先については、9ページのサービ スに関する情報を参照してください。

RFID スレッドの機能

RFD2000 RFID スレッドを使用すると、TC20 モバイル コンピュータを、スキャン トリガーを備えたガン タイプ のハンドルとして使用することができます。RFD2000 はすべての RFID 操作に使用され、長時間にわたる大量の スキャンが必要な作業でモバイル コンピュータを使用する場合に、ユーザーへの負担が軽減されます。

図1 RFD2000 RFID スレッドの機能



表3 RFD2000の部品

番号	項目
1	LED インジケータ (2)
2	アンテナ
3	バッテリ ボックス
4	バッテリ ボックス ラッチ
5	バッテリ ボックスのネジ
6	ストラップ用フック
7	トリガー
8	保持クリップ (2)
9	TC20 用コネクタ

LED の定義

充電中の RFD2000 LED の定義

RFD2000 RFID スレッドは 2 色の LED で状態を示します。

表4 充電中の RFD2000 LED の定義

状況	RFD2000 電源 LED
充電が必要	黄色 (速く - 速く - ゆっくり)
充電中	黄色 (点滅)
バッテリ充電完了	緑色 (点灯)
充電エラー	黄色 (すばやく点滅)

充電中以外の RFD2000 LED の定義

表5 充電中以外の RFD2000 LED の定義

モード	状況	RFD2000 電源 LED	TC20	
LED モード 0 - すべての LED フィードバックが 無効	タグ読み取り表示とバッ テリ読み取りがオフ	消灯	バッテリの充電状態 (SOC) が 10% 以下になると、短い ビープ音が 4 回鳴ります	
LED モード 1 - タグ読み 取り表示有効	タグ読み取り表示有効 (デフォルト)	緑色の LED が点滅します	バッテリの充電状態 (SOC) が 10% 以下になると、短い ビープ音が 4 回鳴ります	
LED モード 2 - バッテリ 表示有効	バッテリ充電の状態 ¹	バッテリ残量が 99%~51% の場合は緑色		
		バッテリ残量が 21%~50% の場合は黄色		
		バッテリ残量が 0%~20% の 場合は赤色		
	低バッテリ充電状態 ¹	バッテリ残量が 0% ~ 10% の場合は赤色	バッテリの充電状態 (SOC) が 10% 以下になると、短い ビープ音が 4 回鳴ります	
LED モード 3 - 低 バッテリ表示有効	正常な充電状態の場合は LED の点灯なし	充電状態が 10% を超えてい る場合は LED の点灯なし		
	低バッテリ充電状態 ¹	バッテリ残量が 0% ~ 10% の場合は赤色	バッテリの充電状態 (SOC) が 10% 以下になると、短い ビープ音が 4 回鳴ります	
¹ RFD2000 RFID スレッドを充電クレードルから取り外す場合は、バッテリ充電状態の LED インジケータが 4 秒間点灯します				

LED の意味

電源投入

RFD2000 RFID スレッドの電源がオフのときに電源を投入するには、トリガーを 1.3 秒間押し続けます。 RFD2000 RFID スレッドがブート アップを開始すると黄色の LED が一度点滅します。

回復モード

RFD2000 RFID スレッドを回復モードにするには、電源がオフになっているときに、トリガーを 20 秒間押し続け ます。LED が赤色で点灯して、RFD2000 RFID スレッドが回復モードになったことを示します。

ファームウェアの更新

RFD2000 RFID スレッド ファームウェア アップデートが進行中で、LED が緑色で点滅します。

バッテリ エラー

RFD2000 RFID スレッドで無効なバッテリを使用すると、LED が赤色で点滅します。RFD2000 用に製造された バッテリ以外は使用しないでください。

バッテリ寿命終了

バッテリ寿命終了の表示は、デフォルトでは無効になっています。バッテリ健全性の LED 表示を有効にしたとき のパーセンテージは次のとおりです。

- 寿命終了パーセンテージが 99% ~ 51% のときは緑色/赤色の交互点滅
- 寿命終了パーセンテージが 21% ~ 50% のときは黄色/赤色の交互点滅
- 残りの寿命終了パーセンテージが0%~20%のときは赤色の点滅

バッテリ健全性パーセンテージが構成可能なしきい値 (デフォルトは 60%) を下回った場合、バッテリ寿命終了表 示がバッテリ充電状態の代わりに表示されます。



RFID スレッドのバッテリの交換

バッテリの取り外し

バッテリを取り外すには、次の手順に従います。

メモ: 最初にご使用になる前に、RFD2000 RFID スレッドをフル充電します。

- 1. プラス ドライバを使用して、バッテリ ボックスのネジを外します。
- 2. マイナス ドライバまたはコインを使用して、バッテリ ボックス ラッチを反時計回りに約 30°回して外します。
- 3. バッテリ ボックスのキャップを取り外します。
- 4. バッテリを取り外します。
- 図2 RFID スレッドのバッテリの取り外し





バッテリの取り付け

バッテリを取り付けるには、次の手順に従います。

1. バッテリをコネクタ側から先に、端子部分をトリガー方向に向けて、バッテリ ボックスに挿入します。 2. バッテリ ボックスのキャップを取り付けます。

マイナス ドライバまたはコインを使用して、バッテリ ボックス ラッチを時計回りに回して締めます。
 バッテリ ボックスのネジを挿入し、プラス ドライバを使用して締めます。

図3 RFID スレッドのバッテリの取り付け



はじめに

モバイル コンピュータを RFID スレッドに取り付ける/取り外す

モバイル コンピュータを RFID スレッドに取り付ける

TC20 モバイル コンピュータを RFD2000 RFID スレッドに固定するには、スレッド ベースの前方に TC20 を完 全に装着し、保持クリップまで押し下げます。

図4 モバイル コンピュータを RFID スレッドに取り付ける



モバイル コンピュータを RFID スレッドから取り外す

TC20 モバイル コンピュータを RFD2000 RFID スレッドから取り外すには、スレッドのハンドルをしっかり握って、TC20 をスレッド ベースから持ち上げて外します。

図 5 モバイル コンピュータを RFID スレッドから取り外す





ストラップの取り付け

オプションのストラップを取り付けるには、次の手順に従います。

- 1. RFD2000 のハンドルの下部にあるストラップ用フックの中に、ストラップのループを挿入します。
- 2. ストラップの上部をループの中に通します。
- 3. 取り付け点の上でクリップをループに通して引っ張り、しっかり固定します。

図6 ストラップの取り付け



充電中

RFD2000 を初めて使用する場合、まず充電クレードルにセットして、LED 電源/充電インジケータが緑色に点灯 するまでフル充電してください (充電状態の表示については12ページのLED の定義を参照)。RFD2000 RFID スレ ッドおよび TC20 モバイル コンピュータは個別に、または連結して、充電クレードルで充電できます。

RFD2000 RFID スレッドは、充電クレードルから取り外す際には、自動的に電源がオンになっています。 リーダーが 30 分間使用されない場合、リーダーはオフ モードになります。ハンドルのトリガーを 1.3 秒間押すと、 リーダーは再びオンになります。

図7 充電クレードル

シングル スロット充電クレードル



バッテリ管理

メイン バッテリの充電状態を確認するには、適切な 123RFID Mobile アプリを実行して、[Settings] > [Battery] を 選択します。LED でバッテリ状態を確認するには、クレードルから RFD2000 RFID スレッドを取り外します。 バッテリ充電状態は 4 秒間表示されます。

123RFID Mobile アプリでは、バッテリ状態はバッテリの充電または放電状況を示し、バッテリレベルはバッテリ 充電量 (フル充電と比較した割合) を示します。パートナー アプリケーションを使用している場合は、パートナー アプリケーションのドキュメントを参照してください。

低バッテリ通知

デフォルトでは、RFD2000 RFID スレッドをクレードルから取り外したとき、LED バッテリ充電状態の表示は 4 秒間続きます。バッテリの充電状態が 21 ~ 50% の範囲にあるとき、表示は黄色です。バッテリの充電状態が 0 ~ 20% の範囲にあるとき、表示は赤色です。

バッテリ充電状態が 10% を下回ると、TC20 モバイル デバイスでは短いビープ音が 4 回鳴ります。

バッテリの最適な使用方法

RFD2000 は、アプリケーションのニーズに対応した、インテリジェントなパフォーマンスとバッテリの最適化を サポートします。この設定を有効にするために API が使用できます。詳細については、『RFD2000 RFID Developer Guide』(p/n MN-003158) を参照してください。

モバイル デバイス

TC20 モバイル コンピュータの詳細については、『TC20 User Guide』で次のサイトにある p/n MN-003020-xx を 参照してください。<u>www.zebra.com/support</u>

Android 用の Zebra RFID Mobile アプリケーション

アップグレードされた Zebra RFID Mobile アプリケーションは、123RFID Mobile アプリケーションと呼ばれま す。このアプリの詳細については、『123RFID Mobile アプリケーション ユーザー ガイド (p/n MN-003765-xx)』を 参照してください。このガイドでは Android 用アプリについて説明し、デバイスの機能やタグ操作機能を実行し ます。

ガイドは、zebra.com/supportで入手できます。

RFID Manager

はじめに

Zebra RFID Manager アプリケーションは、RFD2000 とともに使用する TC20 Android モバイル デバイスの管理を サポートしています。デバイスが RFD2000 リーダーに接続されているかどうかに関係なく、このアプリケーション では、すべての画面に移動できます。リーダーに接続されていない場合、[Settings] 画面にはアプリケーションの 既定が表示されます。



▶ メモ: このガイドに示す画面には、デバイス上に表示される実際の画面とは異なるものもあります。
す。画面は、今後のリリースで変更される場合があります。

RFID Manager

RFD2000 のセットアップ

RFD2000 を TC20 と一緒に初めて使用する際には、次のことを行います。

- バッテリが取り付けられているかどうかを確認する
- RFD2000 を充電する
- RFD2000 の電源をオンにする
- RFD2000 を TC20 に取り付ける
- リージョンおよび パワーレベルを設定する (RFID Manager アプリケーション、Demo アプリケーション、 またはパートナー アプリケーションを使用)。

Android 用 RFID Manager のインストール

要件

・TC20 Zebra モバイル コンピュータ

・モバイル コンピュータ上の Android の推奨バージョンは、Nougat バージョン 7.1.x です。

インストール

ソフトウェアをインストールするには、次の手順に従います。

- Android デバイスをコンピュータに接続します。Android デバイスが PC に接続されたら、USB をファイル 転送モードで設定します。そうすると、デバイスがコンピュータ上でストレージ デバイスとして表示されま す。メディア転送プロトコルを使用したファイルの転送については、次のサイトにある TC20 モバイル コン ピュータの 『Integrator Guide』を参照してください。www.zebra.com/support
- 2. Zebra_RFID_Manager-1.0.7.xx.apk.apk ファイルをモバイル デバイスにコピーします。
- [Device Settings] > [Security] の順に移動し、[Unknown Sources] チェック ボックスをオンにして、不明なソースからのアプリケーションのインストールを許可します。
- 4. ファイル マネージャを使用して、Zebra_RFID_Manager-1.0.7.xx.apk ファイルを見つけ、選択します。
- 5. インストーラ ウィンドウが表示されます。Android App インストーラを選択して、インストールを開始します。

Android 用 RFID Manager の使用

RFID の操作にこのアプリケーションを使用するには、次の手順に従います。

- 1. TC20 モバイル デバイスに Android 用の Zebra RFID Manager アプリケーションがインストールされている ことを確認します。
- 2. モバイル デバイスで Android 用の Zebra RFID Manager アプリケーションを起動します。
- 3. RFD2000 を接続します。
- 4. 初めて使用する前に、デバイスが動作するリージョンを設定します。リージョンを設定するには、アプリケー ションを開き、[Settings] > [Regulatory] を選択します。



メモ: RFID Demo アプリケーションまたはパートナー アプリケーションを RFD2000 に接続する 場合、RFID Manager アプリケーションにはリアルタイムな情報が表示されず、規制、リーダ ーのリセット、出荷時の既定値へのリセット、ファームウェアの更新などの設定を変更でき ません。

Connection Status

リーダーの [Connection Status]

TC20 が RFD2000 に接続されていない場合は、以下の操作を実行します。

- 1. RFID Manager を手動で起動します。
- 2. [Connection Status] > [Reader] の下の [Home] 画面に、RFD2000 が TC20 に対して [Attached] である か、または [Detached] であるかが示されます。
- RFID Manager アプリケーションは、接続されたら、リーダーとの接続を試みます。リーダーがオフの場合は、 通知ウィンドウが表示されます。RFD2000 をオンにする場合は、1.3 秒間トリガーを押してから放します。
- 4. クライアントが接続されていない場合、RFID Manager ではバッテリ ステータスと規制が表示されます。





クライアント アプリケーションのステータス

TC20 が RFD2000 に接続されている場合は、次の手順を実行します。

- 1. 手動でアプリケーションを起動します。
- 2. [Connection Status] > [Client Application] の下の [Home] 画面に、クライアント アプリケーションが RFD2000 に対して [Connected] であるか、または [Disconnected] であるかが示されます。
- 図9 クライアント アプリケーションのステータス画面



[Battery Status] には、バッテリの [Charging Level] の割合と [Charging Status] ([Charging] または [Discharging]) が含まれます。クライアント アプリケーションが接続されている場合は、[Battery Status] フィー ルドが空です。

クライアント アプリケーションが接続されている場合は、[Regulatory] フィールドが空です。

RFID の規制

リージョンを設定するには、[Regulatory] 矢印ボタンを選択して、[Regulatory] 画面を開きます。[Region] および [Channel Selection] 設定を選択し、[Apply] ボタンをタップします。[Region] ドロップダウンには、デバイスで設定されている現在のリージョンが表示されます。デバイスを使用する前に正しいリージョンを選択します。



メモ: [Region] および [Channel Selection] は、初めて使用する前にのみセットアップが必要で す。ただし、RFD2000 RFID スレッドで、[Reset to Factory Defaults] 操作が実行される場 合は、その操作により、リージョンおよびチャネル構成が削除されるため、リセットする必 要があります。



ンモ:機器を使用する国のみを選択してください。

- [Channel Selection] は、チャネル設定が許可されているリージョンにのみ許可されます。
- サポートされるリージョンは、RFD2000 により報告されます。
- RFD2000 でリージョンが構成されていない場合、[Regulatory] ステータスが NA と表示されます。
- お客様のアプリケーションで、リージョンと構成を実際的な方法で設定することもできます。

図 10 [Regulatory] 画面

እ N 🖓 🖥 7:19 AM	እ N 🖓 🖥 7:20 AM
RFID MANAGER	RFID MANAGER
Region	Region
USA 👻	USA -
Channel Selection	Channel Selection
915750	915750
915250	915250
903250	903250
926750	926750
APPLY	APPLY
Warning:Select only the country in which you are using the device.	Settings Applied Successfully which you are using the device.
Î 🌣 🔹 🗹 🕕 Status	Î 🏚 🎄 🗹 🚯

Settings

[Settings] を表示するには、下部のツールバーにある [Settings] アイコンを選択します。

通知制御とリーダー リセット機能を編集するには、[Settings] 制御ボタンを選択します。[Setting] オプションは 次のとおりです。

- [Battery Notification] 有効化すると、低バッテリ通知がバッテリレベル表示とともに表示されます。
- [Battery Beep Notification] 有効化すると、低バッテリ ビープ通知がモバイル コンピュータから聞こ えます。
- [Temperature Notification] 有効化すると、温度が高温で危機的であることを示す通知が温度レベル表示とともに表示されます。
- [Reader Attach / Detach Notification] 有効化すると、リーダーが接続されるか、接続解除されるとき に通知が生成されます。
- [Auto Firmware Update] 有効化される場合、およびデバイスがモバイル コンピュータに接続される際 に、バージョンが一致しない場合には、アプリケーション キャッシュに格納されたファームウェアで自動 的にファームウェアの更新が開始されます。
- 図11 [Settings] 画面

🤨 N 🔜 🔊	·D• 💎	💈 3:41 AM	
RFID Manager			
Settings			
Battery Notification			
Battery Beep Notification			
Temperature Notification			
Reader Attach / Detach N	otificati	on 🕖	
Auto Firmware Update			
Reader			
Reset to Factory Defaults			

Reset Reader



RFID Manager

 [Reset to Factory Defaults] - [Reset to Factory Defaults] を選択すると、すべての構成およびリージョン設定が工場出荷時のデフォルト設定にリセットされます。選択すると、リーダーが再起動し、操作完 了後にウィンドウ メッセージが表示されます。リーダー ステータスを確認する場合は、[Home] > [Status] を参照してください。

図 12 [Reset to Factory Defaults] 画面



 [Reset Reader] - [Reset Reader] を選択すると、リーダーが再起動されます。選択すると、リーダーが再 起動し、操作完了後にウィンドウ メッセージが表示されます。リーダー ステータスを確認する場合は、 [Home] > [Status] を参照してください。

図13 [Reader Reset] 画面

RFID MANAGER

Reset Reader

N

Performing radio reset of RFD2000 will restart the reader. Please disconnect client application before performing this step.

12:59 AM



ファームウェアの更新

[Firmware Update] 画面を使用して、製品コードの更新、Bootloader、および無線の更新を実行できます。



メモ: RFID Manager アプリケーションが最初に起動したときに、内部ストレージへのアクセスの 許可を求めるダイアログ ボックスが表示されます。ファームウェアの更新を実行するには、 アクセスを許可する必要があります。



メモ: バッテリ レベルが 20% を超えると、ファームウェアの更新を実行する必要があります。

ファームウェアの更新を実行するには、次の手順に従います。

- DAT または SCNPLG ファイルを TC20 SD カードにコピーします。次のサイトにある TC20 モバイル コンピュータの 『Integrator Guide』のメディア転送プロトコルを使用したファイルの転送に関するセクションを参照してください。www.zebra.com/support
- 2. フォルダ アイコンをクリックして、ファームウェア DAT または SCNPLG ファイル、Super Combined 画像 または個々のファイルのいずれかを参照します。
- 3. [File View] メニューから必要な DAT または SCNPLG ファイルを選択します。ファイルが選択されたら、ア プリケーションは更新画面に戻ります。

図14 ファームウェアの更新用のファイルの転送

	🛇 🖥 4:08 AM
Music 0 item	Mar 10, 1970 12:17:11 AM
Notifications 0 item	Mar 10, 1970 12:17:11 AM
Pictures 0 item	Mar 10, 1970 12:17:11 AM
Podcasts 0 item	Mar 10, 1970 12:17:11 AM
Ringtones 0 item	Mar 10, 1970 12:17:11 AM
RxLogger 0 item	Mar 10, 1970 12:17:11 AM
wlan_logs 4 items	Mar 15, 1970 3:51:59 AM
RfidLog.txt 23162 Byte	Mar 23, 1970 12:51:09 AM
SAADXS00-00 1857958 Byte	01-R00D0.DAT e Mar 24, 1970 4:06:37 AM
\triangleleft	0

4. [Update] を選択します。

図 15 RFID Manager の [Firmware Update] 画面



- 5. Super Combined 画像が使用される場合は、進捗が RFID 無線、Bootloader、および RFD2000 の進捗ダイアロ グとともに表示されます。個々の画像ファイルが使用される場合は、単一の進捗ダイアログが表示されます。
- 6. 更新が正常に終了したら、ウィンドウに RFD2000 ファームウェアのインストール完了メッセージが表示され ます。
- 図 16 ファームウェア更新の進捗画面



更新されたファームウェア情報が [Information] 画面に表示されます。

図 17	[Information]	画面
------	---------------	----

N RFID Manager	🛇 🛿 4:11 AM
Informatio	n
Application Version	1.0.7.19
Reader	
Module Version	PAADXS00-001-R00
Radio Version	2.0.17.0

Copyright (C) 2017



Recovery Mode

RFD2000 ファームウェアが壊れていると思われる場合にのみ、**[Recovery Mode]** チェック ボックスをオンにし てください (29ページの図 15を参照)。[Recovery Mode] オプションの使用については、Zebra サポート チームに 連絡してください。

RFID Manager ログ

次のオプションは、リーダー ログをキャプチャするために有効にできます。

- [Real-time Logs] RFD2000 からリアルタイム ログをキャプチャします。
- [Retrieve Buffered Logs] RFD2000 からバッファされたログをキャプチャします。
- [Debug Logs] RFID Manager デバッグ ログをキャプチャします。



[™] メモ: 3 つのすべてのログを有効にできます。3 つのすべてのログが無効化される場合、RFD2000 ログを含まない、アプリケーションからのデフォルト ログがキャプチャされます。

図18 RFID Managerの[Logger] 画面



リアルタイム ログをキャプチャするには、次の手順に従います。

- 1. [Real-time logs] を有効にします。
- 2. ログを作成するために RFID アプリケーションを接続して使用します。
- 3. [Export] をタップして、リアルタイム ログを取得します。RFID アプリケーションの接続を解除したり終了し たりする必要はありません。

[Retrieve Buffered Logs] オプションは、RFID アプリケーションが接続解除されるか、実行されていない場合にの み使用できます。

標準の RX Logger アプリケーションを使用して、RFIDAPI3 および RFIDSERVICE アクティビティを取得するこ ともできます。

ログ ファイルのエクスポート

キャプチャしたログ ファイルをエクスポートするには、[Export] ボタンを選択します。ログ ファイルは、TC20 ファイル システムのルートに RfidLog.txt として保存されます。PC に接続した後で、ログ ファイルを取得しま す。RfidLog.txt ファイルは、ルート フォルダの内部ストレージにあります。



▶ メモ: クライアントが接続されている場合、RFID Manager はデバッグ ログのみエクスポートできます。ダンプ ログを取得することはできません。

ビープ音の意味

RFID Manager アプリケーションでは、以下のために TC20 にビープ音を提供しています。

- 低バッテリアラート
- 充電開始表示

About

[About] 画面には、RFID Manager の [Application Version]、[Reader Module]、および RFD2000 によって 報告される [Radio Version] が表示されます。

図 19 [About] 画面



Copyright (C) 2017



StageNow

StageNow ステージング ソリューション

Zebra Technologies の StageNow では、組織の規模にかかわらず、バーコードのクイック スキャンや NFC タグ 上のタップによって、数台から数千台の Android デバイスを簡単にステージングすることができます。StageNow では、複雑なステージング プロファイルも容易に作成できるウィザードベースの簡単なツールが用意されてい ます。

『StageNow Installation Guide』では、StageNow ステージング ソリューションをインストール、アンインストー ル、およびアップグレードする方法について説明しています。また、バージョン、互換性、およびシステム要件 に関する情報も記載しています。次のサイトにある『StageNow Installation Guide』およびファームウェアを参照 してください。<u>www.zebra.com/support</u>

RFID Manager StageNow プラグイン

はじめに

この章では、StageNow を設定して RFD2000 ファームウェアと構成を更新するために必要な手順について説明し ます。また、RFID CSP プラグインを StageNow アプリにインポートし、ファームウェア アップデートとリーダー 構成に必要なさまざまなプロファイルを生成する手順も提供しています。

要件

メモ: このプラグインは、StageNow バージョン 2.9.1.1279 および 2.9.1.1328 でテスト済みです。

- RFD2000 StageNow プラグイン: RFD2000-StageNow-Plugin-v1.1.zip
- StageNow v2.9
- DAT 形式 (SAADXS00-001-R04D0.DAT) または RFD 形式 (RFD2000-SAADXS00-001-R04.RFD) の RFD2000 ファームウェア。これらのファイルは、Zebra RFD2000 のサポート サイトからダウンロードで きます。www.zebra.com/us/en/support-downloads/software/firmware/rfd2000-firmware.html
- StageNow で構成されたステージング サーバー
- RFD 2000 RFID Manager バージョン 1.0.7.22 搭載 TC20



重要: StageNow を使用する前に、RFID Manager を少なくとも 1 回実行して CSP プラグインを正常に登録 し、RFD2000 をステージングできるように TC20 を準備します。

RFID Manager CSP プラグインのインポート

RFID Manager CSP プラグインを StageNow アプリケーションにインポートする方法:

- 1. StageNow アプリケーションを開きます。
- 2. [CSP Library] を選択します。

図 20 RFID Manager のインポート - [CSP Library] の選択

👤 StageNow					
Settings Help About		Current I	P: 10.17.126.38 Wi-Fi Hotspot: (0ff Change Pa	ssword +∃ Log out
			Drag Plug-In CSP Zipped files here to add them to the Library OR, CHOOSE FILE		
✿ Home	Plug-In	Built-In			
+ Create new Profile	Name 🗘		Last Updated 💲	rfidmanager	
all Profiles	PlugInCspSample		6/9/2017 10:43 AM	DETAILS	
All Settings	rfidmanager		8/29/2017 2:54 PM	Name Created by	rfidmanager pluginuser
CSP Library				Updated	08/29/2017 09:24:40
				MX Version DESCRIPTION Rfid configuration	0.2

- 3. [CHOOSE FILE] を選択します。
- 4. RFD2000-StageNow-Plugin-v1.1.zip を参照します。

21 [Plug-in CS	P Successful Upload] ウィンドウ	
🖞 StageNow		_ 🗆 ×
Settings Help About	Current IP: 10.17.126.38 Wi-Fi Hotspot: 🔘 off Change Password 🚽 L	og out
	Drag Plug-in CSP Zipped files here to add them to the Library OR, CHOOSE FILE Successfully uploaded	
Home Create new Profile All Profiles All Settings	Plug-In Plug-In CSP successfully uploaded Name Image: Im	
CSP Library	rfidmanager OK	

5. .zip ファイルのアップロードが正常に完了すると、RFID Manager のエントリが表示されます (図 22)。

😰 StageNow					
Settings Help About					Curre
ń	CSP Libra	ry			
					Î
				Drag Plug-Ir to add th	CSP Zipped files here to the Library
🔒 Home				OR	, CHOOSE FILE
+ Create new Profile					
All Profiles					
All Settings	Plug-In	Built-In			
CSP Library	Name 🗘		Last Updated 💲	Actions	
	PlugInCspSample		6/9/2017 10:43 AM	ŵ	
	rfidmanager		10/5/2017 1:34 PM	Ô	

図 22 RFID Manager 最終更新エントリ
StageNow を使用したファームウェア アップデート プロファイルの作成

このセクションでは、新しいファームウェア プロファイルを作成する手順について説明します。以下に、 SAADXS00-001-N10D0.DAT ファイルをステージング サーバーからデバイスにコピーして、その後にファームウ ェアをアップデートするプロファイルを作成する例を示します。

新しいファームウェア プロファイルを作成するには、次の手順を実行します。

- ステージングされるデバイスとステージング サーバーの両方が接続され、ネットワークを通じてアクセスで きることを確認します。
- 2. サイド メニューから [Create New Profile] を選択します。

	図 23	ファームウェア	アップデー	トの作成-	[CSP Library] 画面
--	------	---------	-------	-------	------------------

Settings Help About					Current IP :	10.17.126.35	Wi-Fi Hotspot: 🔘 Off
	CSP Libra	iry					
				Drag Plug-Ir	CSP Zipped files here		
A Home					, CHOOSE FILE		
+ Create new Profile							
All Profiles							
All Settings	Plug-In	Built-In					
CSP Library	Name 🗘		Last Updated 💲	Actions			
	PlugInCspSample		6/9/2017 10:43 AM	ŵ			
	rfidmanager		10/5/2017 1:34 PM	ŵ			

3. [Select a Wizard] ウィンドウで、[XpertMode] を選択してから、[Create] を選択します。

図 24 ウィザード ウィンドウの選択

CtageNov

	ŀ	Select a Wizard Please select the MX version	on on your device: MX 6.1 🔻 😨
		Name	Description
		¹ 0 ¹ Configure a Davies	Configure mont common Cattings for a device. Use this Wigned to Manage
		Configure a Device	Configure most common setungs for a device. Use this wizard to manage
Plug-In	Built	Connect Network	Connect to a Network. Use this wizard to connect to a WI-H, GPRS, or Ether
Name 🗘		Manage Application(s)	Enroll a device for management by an MUM. Use this Wizard to Download, Manage applications on a device. Use this Wizard to Download, Install, Uni
PlugInCspSample		Manage Device Security	Configure Security options and policies for a device. Use this Wizard to Wh
rfidmanager		Perform OS Update	Perform an OS Update on a device. Use this Wizard to apply an Update or a
		Wipe a Device	Destroy device data using Enterprise or Factory Reset
	C	Xpert Mode	Configure any available Settings for a device. Use this Wizard to create any

- **4. [Enter Profile name:]** テキストボックスに、新しいプロファイルの名前を入力します。例えば、図 25 に示す ように、「Rfid-N10-Update」と入力します。**[Start]** を選択します。
- 図 25 ファームウェア アップデートの作成 プロファイル名

1 StageNow				<u> </u>
Settings	Help About rent IP :	10.17.126.38 Wi-Fi Hotspot:	Off Change Password	🕂 Log out
📈 Xper	t Mode: Rfid-N10-Up	odate	Profile Status: Incomplete	A
Before	you start			
Configur in any se	e any available Settings fo equence.	r a device. Use this Wizard to create	e any combination of Settings or	other Wizards
	Enter Profile name:	Rfid-N10-Update		
		Start		

5. [FileMgr CSP] と [rfidmanager CSP] の横にある 🚺 を選択して、[Add] を選択します。

図 26 ファームウェア アップデートの作成 - アプリケーションの追加

Before you start	ADD / EDIT			
Configure any available Settings for a device. U	se ti			
	SETTIN	IGS WIZARI)	CONFIG DEPLOY
	Name	Description	Add	
	PersonalDictionar	y Manage personal dictionary	0	2. rfidmanager 🗙
	PlugInCspSample	RFID Configurations	0	
	U PowerKeyMgr	Manage Power Key Configuration	0	
	🖞 PowerMgr	Perform power management operations	0	
	RemoteScannerM	lgr Remote Scanner Management	0	
	C rfidmanager	Rfid configuration	0	
	ScanModeMgr	Set Scan Mode	•	
	SdCardMgr	Manage SdCard Configuration	0	

6. 図 27 に示すように、[Target Path and File Name] (デバイスのターゲット パス) と [Source File URL] (ステ ージング サーバーのファイル パス) を入力します。[Continue] を選択します。

図 27 フ	ファームウェア	アップデート	ヽの作成 -	FileMgr	の構成
--------	---------	--------	--------	---------	-----

🚺 StageNow
Settings Help About
й XpertConfig: Rfid-N10-Update 🗹
StageNow Config Review Publish
1 2 FileMgr rfidmanager
File Action: 🕢
Transfer/Copy File Delete File Download and Expand Archive File Target Access Method: Image: Comparison of the file
File in the device file system
Target Path and File Name:
Source Access Method: 💿
File on a remote server File in the device file system File embedded in XML
Source File URI: 💿
ftp-p://ftp-dev:M0t04sds@localhost:21/SETTINGS/setting

7. [Firmware Update] のチェックボックスを選択し、[Firmware Update FileName] を入力します。これは、ス テップ 6 で入力された [Target Path and File Name] です (/data/tmp/public/SAADXS00-001-N10D0.DAT)。 [Continue >] を選択します。

図 28	ファームウェア	アップデートの作成 - RfidManager	の構成
------	---------	-------------------------	-----

1 StageNow				
Settings Help About	Current IP :	10.17.129.133 Wi-Fi Hotspot	: Off Change Pas	sword 🕂 Log out
XpertConfig: FirmwareConfiguration	Ľ	Profile Id: 2	Profile Status: Incomplete	
StageNow Config Rev	iew	Publish		
1 FileMgr	2 rfidmanager)		ADD / EDIT
fidmanager Configure the Setting				
Create New Setting				
 Save Setting for Re-use Firmware Update ✓ Firmware Update FileName: 			Edit	ve Cancel
/sdcard/SAADXS00-001-R04D0.DAT				
Rfid Advanced options				
< Back				Continue >
- Data				oonunue >

8. 入力を確認し、[Complete Profile >] を選択します。

ageNow				
tings Help About		nt IP : 10.17.129.133 Wi-Fi H	lotspot: Off Change Passwo	ord 🕂 Log
XpertConfig: Firmware(Configuration 🗹	Profile Id: 2	Profile Status: Incomplete	
StageNow Config	Review	Publish		
Staging Profile				
StageNow Config 2				+ Expand
Profile Description :	XpertConfig 📝			
Encrypt Barcode, Audio and NFC Data:	Security Warning: Your Barcode, Audio and N	FC data will NOT be encrypted if u	inchecking this box. 🕑	

- 9. 必要な [Barcode Type] のチェックボックスを選択します。[Test] を選択します。
- 図 30 ファームウェア アップデートの作成 バーコードの選択

O StageNow	elp About	C	urrent IP: 10.17.1	29.133 Wi-Fi H	Hotspot: O Of	Change Passy	vord 🕂 Log out
🖉 XpertC	onfig: FirmwareC	onfiguration 🗹	Prol	ile Id: 2	Profile	Status: Complete	^
StageN	low Config	Review		Publish			
				+ Export	for MDM	+ Export for S	StageNow
	WiFi-Hotspot						
	You have a Staging to create a direct o the multiples barco	g Server configured. Wou connection to this compu- odes in the case that you lotspot	uld you like to use the iter via hotspot. The have Device Setting	e new WiFi Hotsp connection will be s in the Config Se	ot feature instead secure and remo ction.	? This will allow you we the need to print	
	Barcode	4	Audio	NFC			
	Туре		Staging Clie	Last Tested	Published	Latest Stag	
		PDF417 Recommended for 2D Scan Engines	StageNow				
		Linear Recommended for 1D Laser Scanner	StageNow				
	Action		Select Select All	Test Test	Publish Publish	Stage Stage	
< Back							

- 10. テストでは、ファームウェアをステージングするデバイスで StageNow クライアントを使用してスキャンで きるバーコードが生成されます。
- 図 31 ファームウェア バーコードのステージング

	N	
🗻 Sta	geNow	
Profile Name: Rfid-N	0-Update	
Barcode Type: PDF4	17	
Minimum Compatible	MX Version: 6.1	
Network Connection StageNow Tool.	This Profile requires your Zebra	a device to be able to connect to your
Scan Barcodes wit	StageNow Client:	
1		

リーダー構成の作成

このセクションでは、StageNow の詳細オプションを使用して、新しい規制構成プロファイルを作成する手順について説明します。

プロファイルを作成し、リージョン、チャネル マスク、およびチャネル ホッピングを更新するには、次の手順を 実行します。

- 1. ステージングされるデバイスとステージング サーバーの両方が接続され、ネットワークを通じてアクセスで きることを確認します。
- 2. [Create New Profile] を選択し、[XpertMode] を選択します (37 ページの図 23 と図 24 を参照)。

3. [rfidmanager] の横にある 🜑 を選択し、[Add] を選択します。

図 32 RFID 構成の追加

	SETTINGS		WIZARD		CONFIG	DEPL	OY
Name	Ð	Description		Add	1. rfidm	anager	×
half	Livenseingi	-renommorence management o	perationa	v			
C	PersistMgr	Manage XML Persistence		0			
۵	PersonalDictionary	Manage personal dictionary		0			
Ċ	PowerKeyMgr	Manage Power Key Configuration	n	0			
Ċ	PowerMgr	Perform power management op	perations	0			
٢	RemoteScannerMgr	Remote Scanner Management		0			
0	rfidmanager	Rfid configuration		0			
0	ScanModeMgr	Set Scan Mode		0			
	SdCardMgr	Manage SdCard Configuration		0			

- 4. 44ページの図 33に示す次の設定を入力します。
 - [Channels Mask]
 - [Country of Operation] (リージョン)
 - [Channel Hopping] の値
 - [Antenna information]
 - [Singulation Control]
 - [Export Settings]

図 33 rfidmanager プロファイルの作成

C StageNow					- • •
Settings Help About				Off Change Pas	sword 🕂 Log out
XpertConfig: Configuration (Ż	Profile Id: 6		Profile Status: Incomplete	^
StageNow Config	Review		Publish		
1 rfidmanae	ger				ADD / EDIT
Create New Setting					
Save Setting for Re-use Firmware Update Firmware Update Country of Operation UNITED_STATES Enabled Channels Mask Enabled channels Mask Enabled channel Mask Finable Chann	•				
Do nothing Disable RFID Transmit Power Level 270 Query Select 2	Enable				
Do nothing	•				
Query Session 🕜					
Do nothing	•				
Query Target 💿					
Do nothing	-				
Export settings					
Reset Radio to factory default					U
					Continue >

注:

- a. プロファイルは、すべての要素 ([Channels Mask]、[Country of Operation]、[Channel Hopping]、[Transit Power Level]、[Query Session]、[Export Settings]) に対して個別に作成できます。
- b. リーダー情報 (デバイスの詳細、ファームウェアのバージョン、ログ、デバイス コマンド、チャネル情報)の [Export Settings] を選択します。すべての詳細情報は、export_logs.txt のファイル名で SD カードに格納されます。
- c. チャネル ホッピングが有効になっている場合、複数のチャネルを選択することができます。チャネル ホッピングが無効になっている場合、リージョン設定を適用するために選択できるチャネルは 1 つだけです。
- d. 負の値、文字列、または範囲外の値が適用された場合、これらの値はアプリケーションに表示されません。
- e. [Country of Operation] が [United States] の場合は、[Channels Mask] の値は必要ありません。入力しても、 アプリケーションには表示されません。
- 5. [Continue >] を選択し、入力を確認して、[Complete Profile] を選択します。
- 6. 必要な [Barcode Type] のチェックボックスを選択します。[Test] を選択します。

図 34 規制アップデートの作成 - バーコードの選択

StageNow							
Settings Help	About		ent IP: 10.17.1	29.133 Wi-Fi H	Hotspot: 🔵 of	Change Passv	vord 🕂 Log out
🖉 XpertConfig	: FirmwareConfigu	iration 🗹	Prof	ile Id: 2	Profile	Status: Complete	•
StageNow C	Config	Review		Publish			
				♦ Export	for MDM	⇒≣ Export for S	StageNow
w	IFI-Hotspot						
Yo to the	u have a Staging Serve create a direct connect multiples barcodes in	configured. Would ion to this compute the case that you ha	you like to use the r via hotspot. The e ave Device Setting	e new WiFi Hotsp connection will be s in the Config Se	ot feature instead e secure and remo ction.	? This will allow you we the need to print	
	Yes,use WiFi Hotspot	,	-				
	Barcode	Au	dio	NFC			
	Туре		Staging Clie	Last Tested	Published	Latest Stag	
	88 K	PDF417	StageNow				
		Recommended for 2D Scan Engines					
		Linear	StageNow				
		Recommended for 1D Laser Scanner					
	Action		Select Select All	Test Test	Publish Publish	Stage Stage	
< Back							

- 7. テストで図 35 に示すバーコードを生成します。このバーコードを、デバイスの StageNow クライアントを 使用してスキャンし、規制の詳細設定とアンテナ情報をステージングできます。
- 図 35 規制の詳細構成とアンテナ情報をステージングするバーコード



Reset Radio と Reset to Factory プロファイルの作成

このセクションでは、StageNow を使用して Reset Radio と Reset to Factory のプロファイルを作成する手順に ついて説明します。

Reset Radio と Reset to Factory プロファイルを作成するには:

- ステージングされるデバイスとステージング サーバーの両方が接続され、ネットワークを通じてアクセスで きることを確認します。
- 2. [Create New Profile] を選択し、[XpertMode] を選択します (37 ページの図 23 と図 24 を参照)。
- 3. [rfidmanager] の横にある 🔂 を選択し、[Add] を選択します。

図 36 RFID 構成の追加

SET	TINGS	WIZARD		CONFIG	DEPLOY
Name	Description		Add	1. rfidm	nanager 🗙
Las Livensemyi	r enormnoenoe manag	анын орымлоно	v		
O PersistMgr	Manage XML Persisten	e	0		
PersonalDiction	onary Manage personal diction	nary	0		
U PowerKeyMgr	Manage Power Key Con	figuration	0		
O PowerMgr	Perform power manage	ment operations	0		
RemoteScann	erMgr Remote Scanner Manag	ement	0		
C rfidmanager	Rfid configuration		0		
ScanModeMg	r Set Scan Mode		0		
SdCardMgr	Manage SdCard Configu	iration	0		

- 4. 図 37 に示すように、[Reset Radio] を選択して、[Reset Radio to factory defailt] チェックボックスを選択し ます。
- 図 37 無線のリセット

StageNow					
Settings Help About			Wi-Fi Hotspot:	Off Change Pa	assword 🕂 Log out
🖉 XpertConfig: Configuration 🗹	ŕ	Profile Id: 6		Profile Status: Incomple	ta 🔒 🏦
StageNow Config	Review		Publish		
1					ADD / FDIT
rfidmanage	C2) r				
Create New Setting					
Save Setting for Re-use					
Firmware Update					
Rfid Advanced options					
Country of Operation					
NO_REGION_SET	-				
Enabled Channels Mask					
Enable channel bonning					
Do nothing Disable E	nable				
RFID Transmit Power Level					
Query Select					
Do nothing					
Ouery Session					
Do nothing					
Ouery Target					
Do nothing	-				
Export settings					
Reset Radio					
Reset Radio to factory default 🕝					
					Continue >

注:

- a. プロファイルは、すべての要素 ([Reset Radio]、[Reset Radio to factory default]) に対して個別に作成する ことができます。
- b. [Reset Radio]を選択すると、デバイスのバッテリー ランプが点滅し、設定が適用されます。
- c. [Reset Radio to factory default] を選択すると、管理とデモの両方のアプリケーションのすべての値がリ セットされます。
- 5. [Continue >] を選択し、入力を確認して、[Complete Profile] を選択します。
- 6. 必要な [Barcode Type] のチェックボックスを選択します。[Test] を選択します。

図 38 リセット アップデートの作成 - バーコードの選択

StageNow							
Settings Help	About				Hotspot: 🔵 Of	Change Pass	word 🕂 Log out
🗡 XpertConf	fig: FirmwareConfig	uration 🗹	Prof	ile Id: 2	Profile	Status: Complete	•
StageNow	Config	Review		Publish			
			(÷≣ Export	for MDM	→I Export for	StageNow
	WiFi-Hotspot You have a Staging Serve to create a direct connec the multiples barcodes in Yes,use WiFi Hotspo	rr configured. Would tion to this compute the case that you hi t	l you like to use the r via hotspot. The o ave Device Setting:	e new WiFi Hotspi connection will be s in the Config Se	ot feature instead e secure and remo ction.	? This will allow you ve the need to print	
	Barcode	Au	dio	NFC			
	Туре		Staging Clie	Last Tested	Published	Latest Stag	
		PDF417 Recommended for 2D Scan Engines	StageNow				
		Linear Recommended for 1D Laser Scanner	StageNow				
	Action		Select Select All	Test Test	Publish Publish	Stage Stage	
< Back							

- 7. テストで図 39 に示すバーコードを生成します。このバーコードを、デバイスの StageNow クライアントを 使用してスキャンし、リセットをステージングできます。
- 図 39 リセットのステージング



Scan Barcodes with StageNow Client:



単一プロファイルによるファームウェアおよび規制のアップデートの適用

1 つのプロファイルを使用して、ファームウェアおよび規制のアップデートを適用することができます。リーダー のファームウェアが最初に更新され、次に規制構成が適用されます。

tings Help About Current		Wi-Fi Hotspot: 0ff 0	change Password 🕂 Log o
XpertConfig: Configuration 🗹	Profile Id: 6	Profile Status:	Incomplete 🔒
StageNow Config Revi	ew	Publish	
			ADD / EDIT
rfidmanager			
Create New Setting			
Save Setting for Re-use			
Firmware Undate			
Firmware Update FileName: 💿			
/sdcard/SAADXS00-001-R04D0.DAT			
Rfid Advanced options			
Country of Operation 💿			
UNITED_STATES -			
Enabled Channels Mask 💮			
Enable channel hopping 💿			
Do nothing Disable Enable			
RFID Transmit Power Level 📀			
270			
Query Select 💿			
Query applies to all tags 🔹			
Query Session 💮			
Session S1 ·			
Query Target 💮			
Inventory Toront Flore A			

メンテナンスと トラブルシューティング

はじめに

この章では、クリーニングとメンテナンスの方法、および発生する可能性のある問題のトラブルシューティング について説明します。

クリーニング

.

注意: 必ず保護用めがねを着用してください。

ご使用前に、圧縮空気とアルコールに関する警告ラベルをお読みください。

医学的な理由などで他の溶液を使用する必要がある場合は、Zebra に詳細をお問い合わせください。



警告: 高温の油やその他の可燃性の液体に製品を触れさせないでください。万一そのような液体に触れた場合は、製品を電源から抜き、このガイドラインに従ってただちに製品をクリーニングしてください。

使用可能な洗剤の活性成分

どのような洗剤であってもその活性成分は、イソプロピル アルコール、漂白剤/次亜塩素酸ナトリウム、過酸化水 素、中性食器洗剤のいずれか、またはこれらの組み合わせのみで構成されている必要があります。

有害成分

化学薬品の中には、RFD2000 およびモバイル コンピュータの樹脂部分を冒すことが判明しているために、デバイ スに接触しないような配慮が必要なものがあります。このような化学薬品として、アンモニア溶液、アミンまた はアンモニアの化合物、アセトン、ケトン、エーテル、芳香族炭化水素および塩素化炭化水素、アルカリのアル コール溶液または水溶液、エタノールアミン、トルエン、トリクロロエチレン、ベンゼン、石炭酸、および TB-リゾフォルムがあります。

クリーニング方法

RFD2000 およびモバイル コンピュータに液体を直接塗布しないでください。柔らかい布にしみ込ませて使用す るか、ウェット ティッシュを使用してください。布やウェット ティッシュにデバイスをくるまず、力を入れずに ゆっくりと表面を拭きます。ディスプレイの周辺などに液体がたまらないように注意してください。デバイスの 使用前に、十分に自然乾燥させてください。



重要: クリーニングするとき、または雨や湿気にさらすときは、必ずバッテリ カバーを取り付けた状態にして ください。バッテリ カバーがないと、防滴、防塵の性能は発揮されません。

クリーニングの際の注意事項

多くのビニール製手袋には、医療用途にはお勧めできないフタレート系の添加剤が含有されており、RFD2000 お よびモバイル コンピュータの筐体には有害であることがわかっています。フタレートを含有する手袋を着用して RFD2000 を扱わないでください。また、手袋を外した後は、手を洗って汚染残留物を除去してからデバイスを扱っ てください。RFD2000 を扱う前に、エタノールアミンを含有する除菌ローションなど、上記の有害成分を含有す る製品を使用していた場合は、樹脂部の損傷を防止するために、手を完全に乾燥させてから RFD2000 を扱うよう にしてください。

必要な材料

- アルコール脱脂綿
- レンズ用ティッシュ ペーパー
- 綿棒
- イソプロピル アルコール
- 管つき圧縮空気の缶

クレードルのコネクタのクリーニング

クレードルのコネクタをクリーニングするには、次の手順に従います。

- 1. クレードルから DC 電源ケーブルを取り外します。
- 2. 綿棒のコットン部をイソプロピル アルコールに浸します。
- 綿棒の綿の部分をコネクタのピンに沿ってこすります。コネクタの片側から反対側に向けて、ゆっくり綿棒を 往復させます。コネクタにコットンの屑が残らないようにしてください。
- 4. コネクタのすべての側面を綿棒で拭きます。
- 5. 圧縮空気をコネクタ部にスプレーします。このとき、圧縮空気の管やノズルを表面から約 1.2cm 以上離してく ださい。

注意: ノズルを自分や他の人に向けないでください。ノズルや管は自分の顔に向けないようにしてく ださい。

- 6. 綿棒の屑が残っていないことを確認し、屑が残っていれば取り除きます。
- クレードルの他の部分に油分や埃が見つかった場合は、糸くずの出ない布とアルコールを使用して取り除き ます。
- 8. アルコールが蒸発するまで 10 ~ 30 分 (周辺の温度と湿度による) 置いてから、クレードルに電源をつないで ください。

気温が低く湿度が高い場合は、長い乾燥時間が必要となります。気温が高く湿度が低い場合は、乾燥時間が短 くて済みます。

クリーニングの頻度

モバイル デバイスが使用される環境がそれぞれ異なるため、クリーニングの頻度はご自分でご判断ください。必 要に応じた頻度でクリーニングを行うことができます。ただし、埃の多い環境で使用する場合は、スキャンのパ フォーマンスを最適に保つため、スキャナ ウィンドウを定期的にクリーニングすることをお勧めします。

メンテナンス

トラブルを避けるため、本機の使用中は次の注意事項を守ってください。

RFD2000

- 防滴および防塵シーリングがありますが、雨や湿気には長時間さらさないでください。一般的に、電卓などの小型電子装置と同様に扱ってください。
- クリーニングするとき、または雨や湿気にさらすときは、必ずバッテリカバーを取り付けた状態にしてください。バッテリカバーがないと、防滴、防塵の性能は発揮されません。
- 落としたり強い衝撃を与えたりはしないでください。
- 極度の高温または低温にはさらさないでください。暑い日に車のダッシュボードに置いたままにしたり、 熱源のそばに置いたりしないでください。
- 極端にほこりっぽい場所、極端に湿度が高い場所、濡れている場所では、保管も使用もしないでください。
- 窓拭き用の洗浄液は使わないでください。イソプロピル アルコールと水とを 1 対 1 の割合で混ぜた溶液 で湿らせた柔らかい布を使用してください。49ページのクリーニングを参照してください。
- スクリーンにも本機のどこにも溶液が溜まらないようにしてください。
- 本機が濡れたままになるほどの大量の溶液は使わないでください。

バッテリ



警告:本機を保管するときは、必ずバッテリを抜いてください。バッテリは、長期間入れたままにしておくと不可逆的損傷が生じる可能性があります。バッテリは必ず、本機から抜いて保管してください。バッテリは、取り付けたまま長期間保管すると、充電できなくなるほどまで放電してしまうことがあります。

本機とは別に保管する場合でも、業界標準の指針に従うことが重要です。バッテリ セルの製造業者は、バッテリを 1年以上保管すると、バッテリの総合的な品質に不可逆的な劣化が発生する可能性があることを指摘しています。 このような劣化を最小限に抑える手段として、半分まで充電した状態で、5 ~ 25°C (41 ~ 77°F)の乾燥した涼し い場所に保管することを推奨します。温度は低いほど良いです。バッテリは少なくとも1年に1回、半分の容量 まで充電してください。バッテリを半分の容量まで充電するには、完全に放電したバッテリを2時間充電します。 液漏れを発見した場合は、液が付着した部分への接触を避け、適切な方法で廃棄してください。

技術仕様

表6 RFD2000の技術仕様

項目	説明		
物理特性			
寸法	高さ : 14.9cm (5.9 インチ)		
	幅:7.9cm (3.1 インチ)		
	長さ : 13.3cm (5.2 インチ)		
重量	~10.9 オンス /~310g(バッテリ搭載スレッド)		
電源	PowerPrecision+ Li-Ion 3160 mAh バッテリ		
周波数範囲 /	米国 : 902-928MHz; 0 - 30dBm (EIRP)		
RF 出力	EU: 865-868MHz; 0 - 30dBm (EIRP)		
	日本 : 916-921MHz (LBT あり); 0 - 30dBm (EIRP)		
動作環境	<u>.</u>		
動作温度	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)		
保管温度	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)		
充電温度	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)		
相対湿度	動作時 : 5 ~ 85%(結露なきこと)		
シーリング	IP52		
耐落下衝擊性能	1.2m (4 フィート)の高さからコンクリート面		
耐転倒衝撃仕様	20°C 下で、0.5m の高さからの転倒 500 サイクル (1000 回の落下)		
静電放電 (ESD)	± 15kV 大気放電、± 8kV 直接放電、± 8kV 間接放電		

図 41 シングル スロット クレードルの技術仕様

項目	説明
寸法	高さ : 9.0cm (3.54 インチ)
	幅 : 9.8cm (3.86 インチ)
	長さ : 13.3cm (5.24 インチ)
重量	0.205kg / 0.45lbs
入力電圧	12VDC
消費電力	最大 15W
動作温度	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)
保管温度	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)
充電温度	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)
相対湿度	動作時 : 5 ~ 85%(結露なきこと)
耐落下衝撃性能	20°C 下で、76.2cm (30 インチ) の高さからビニール タイル接着コンクリー トへ落下
静電放電 (ESD)	± 15kV 大気放電、± 8kV 直接放電、± 8kV 間接放電

図 42 5 スロット クレードルの技術仕様

項目	説明
寸法	高さ:10.9cm (4.29 インチ)
	幅 : 48.9cm (19.25 インチ)
	長さ : 13.3cm (5.24 インチ)
重量	1.884kg / 4.15lbs
入力電圧	12VDC @ 9Amp
消費電力	75W(スロットすべてで充電する場合の最大電力)
動作温度	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)
保管温度	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)
充電温度	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)
相対湿度	動作時 : 5 ~ 85%(結露なきこと)
耐落下衝撃性能	20°C 下で、76.2cm (30 インチ) の高さからビニール タイル接着コンクリー トへ落下
 静電放電 (ESD)	± 15kV 大気放電、± 8kV 直接放電、± 8kV 間接放電

トラブルシューティング

トラブルシューティング

メモ:表 7 に記載されているトラブルシューティング情報は、RFD2000 RFID スレッドのデフォルト LED 構成に該当します。

表 7	デフォルト LED	による RFD2000 RFID	スレッドのトラフ	ブルシューティング
-----	-----------	------------------	----------	-----------

症状	主な原因	操作
RFID アプリケーション は TC20 モバイル デバイ スで動作します。	RFD2000 RFID Manager APK がインス トールされていません。	TC20 モバイル デバイスに RFID アプリケーションを インストールする前に、最初に RFID Manager APK を インストールします。
		TC20 端末でエンタープライズ リセットが発生した場合、RFID Manager APK を再インストールする必要があります。
RFID スレッドはタグを 読み取りません。	RF リージョン構成が設 定されていません。	RFID Manager アプリケーションを使用し、アプリケー ションの手順に従って、規制リージョンまたは国ごとの 操作を設定します。
RFID スレッドは TC20 モバイル デバイスに接続 されていて、トリガーを 押した後でも、RFID ア プリケーションに応答し ません。	バッテリ残量が低すぎ て、RFID スレッドに電 源を投入できません。	RFID スレッドの電源をオンにするには、トリガーを 2~3秒間押します。RFID スレッドの電源をオンにす ると LED が黄色に点滅します。 (デフォルトでは、RFID スレッドがオフ モードになって いるときにトリガーを押すと電源がオンになります。た だし、RFID スレッドは無効にすることができ、その場 合、このステップは不要です。) RFID スレッドを充電クレードルで充電します。RFID ス レッドで黄色 LED が点滅して充電が開始したことを示 します。13ページのLED の意味を参照してください。
	Zebra TC20 モバイル コンピュータが RFID スレッドに正しく挿入 されていません。	Zebra モバイル デバイスを取り外して、RFID スレッド に確実に取り付け直してください。16ページのモバイル コンピュータを RFID スレッドに取り付けるを参照して ください。
	 バッテリが破損してい ます。	充電クレードルにしばらく取り付けた後でも RFD2000 RFID スレッドの LED が黄色に点滅しない場合、バッテ リの交換サービスを依頼してください。9ページのサー ビスに関する情報を参照してください。

KA

症状	主な原因	操作
RFID スレッドがアプリ ケーションに応答せず、 RFD2000 RFID スレッド の赤色 LED が点灯または 点滅しています。	回復モードが有効です。	意図せずに回復モードに入った場合は、RFID スレッド で回復モードが自動的に終了するまで約 1.5 分間待ちま す。13ページの回復モードを参照してください。
RFID スレッドは応答し ていますがタグを読み取 れません。	バッテリ残量がきわめ て少なくなっています。	RFID スレッドを充電クレードルで充電します。RFID ス レッドの LED が黄色に点滅します。RFID スレッドは、 充電クレードルから取り外したときに LED が一瞬黄色 または緑色に点灯すると、使用できます。
クレードルに取り付けて いるとき、RFD2000 RFID スレッドの LED は 黄色に速く点滅します。	充電エラーです。	RFID スレッドをクレードルから取り外し、クレードル に挿入し直して、充電を再開します。問題が解決しない 場合は、バッテリの交換サービスを依頼してください。 9ページのサービスに関する情報を参照してください。
RFID スレッドをクレー ドルから取り外すと、 RFID スレッドの赤色 LED が一瞬点灯します。	これは、バッテリ レベ ルがまだ低いため、 RFID スレッドをクレー ドルから取り外すのが 早すぎたことを示して います。	バッテリが十分に充電されるまで RFID スレッドを充電 器に戻します。
(充電中ではなく) 使用中 に、RFID スレッドの LED が赤色で点滅する か、LED が赤色と緑色ま たは黄色で交互に点滅し ます。	バッテリ寿命終了の表 示です。	バッテリの交換サービスを依頼してください。9ページ のサービスに関する情報を参照してください。
Zebra TC20 モバイル コ ンピュータのバッテリが 充電されません。	充電クレードルが AC 電源から抜かれてい ます。	充電クレードルに電力が供給されていることを確認し ます。
	Zebra TC20 モバイル コ ンピュータがクレード ルに完全にセットされ ていません。	Zebra TC20 モバイル コンピュータをクレードルから取 り外し、充電クレードルにしっかりセットされるように 差し込み直します。

表 7 デフォルト LED (続き) による RFD2000 RFID スレッドのトラブルシューティング

LED モード 2 による RFD2000 RFID スレッドのトラブルシューティング



メモ: 表 7 に記載されているトラブルシューティング情報に加え、表 8 は、トリガーを押したとき に RFD2000 RFID スレッドがバッテリ充電状態を示すように構成されている場合にも該当 します。これは、12ページの表 5 に説明されている LED モード 2 です。

表8 LED モード2による RFD2000 RFID スレッドのトラブルシューティング

症状	主な原因	操作
トリガーを押したときに RFID スレッドの LED が 点滅しません。	バッテリ残量が低すぎ て、RFID スレッドに電 源を投入できません。	RFID スレッドの電源をオンにするには、トリガーを 2 ~ 3 秒間押します。RFID スレッドの電源をオンにす ると LED が黄色に点滅します。 (デフォルトでは、RFID スレッドがオフ モードになって いるときにトリガーを押すと電源がオンになります。た だし、RFID スレッドは無効にすることができ、その場 合、このステップは不要です。) RFID スレッドを充電クレードルで充電します。RFID ス レッドで黄色 LED が点滅して充電が開始したことを示 します。13ページのLED の意味を参照してください。
	バッテリが破損してい ます。	充電クレードルにしばらく取り付けた後でも RFD2000 RFID スレッドの LED が黄色に点滅しない場合、バッテ リの交換サービスを依頼してください。9ページのサー ビスに関する情報を参照してください。
RFID スレッドは TC20 モバイル デバイスに接続 されていて、トリガーを 押した後でも、RFID ア プリケーションに応答し ません。	バッテリ残量が低すぎ て、RFID スレッドに電 源を投入できません。	RFID スレッドの電源をオンにするには、トリガーを 2 ~ 3 秒間押します。RFID スレッドの電源をオンにす ると LED が黄色に点滅します。 (デフォルトでは、RFID スレッドがオフ モードになって いるときにトリガーを押すと電源がオンになります。た だし、RFID スレッドは無効にすることができ、その場 合、このステップは不要です。) RFID スレッドを充電クレードルで充電します。RFID ス レッドで黄色 LED が点滅して充電が開始したことを示 します。13ページのLED の意味を参照してください。
	バッテリが破損してい ます。	充電クレードルにしばらく取り付けた後でも RFD2000 RFID スレッドの LED が黄色に点滅しない場合、バッテ リの交換サービスを依頼してください。9ページのサー ビスに関する情報を参照してください。
	Zebra TC20 モバイル コ ンピュータが RFID ス レッドに正しく挿入さ れていません。	Zebra モバイル デバイスを取り外して、RFID スレッド に確実に取り付け直してください。16ページのモバイル コンピュータを RFID スレッドに取り付けるを参照して ください。
	TC20 モバイル コンピ ュータが RFID スレッ ドに接続できません。	RFID スレッドのトリガーを押すとRFID スレッドの LED が緑色または黄色になる場合、スレッドは機能して います。同じ RFID スレッドで別の TC20 モバイル コン ピュータを試してみるか、TC20 モバイル コンピュータ を再起動して RFID スレッドに再接続してみます。
RFID スレッドは応答し ていますがタグを読み取 れません。	バッテリ残量がきわめ て少なくなっています。	RFID スレッドのトリガーを押すと赤色の LED が点灯す る場合は、RFID スレッドを充電クレードルに取り付け ます。RFID スレッドの LED が黄色に点滅します。RFID スレッドは、充電クレードルから取り外したときに LED が一瞬黄色または緑色に点灯すると、使用できます。

はじめに

この章では、属性番号 (デバイスに関する構成パラメータ、監視対象データ、作成日) およびさまざまな属性ドメ インの管理について説明します。この情報はバーコード スキャナと OEM エンジンの両方に適用されます。

RFD2000 の属性

属性の定義

- 属性番号 属性番号が含まれます。すべての属性番号は一意です。
- 属性名 属性の名前を定義します。
- 説明 属性の説明が含まれます。
- タイプ 表 9 で定義されています。
- 表9 属性タイプ

タイプ	定義
В	Byte - 符号なしの文字
С	Char - 単一バイト
F	ビット フラグ
W	WORD - 短い符号なし整数 (16 ビット)
I	SWORD - 短い符号付き整数 (16 ビット)
D	DWORD - 長い符号なし整数 (32 ビット)
L	SDWORD - 長い符号付き整数 (32 ビット)
А	アレイ
S	文字列
Х	操作
N	最後のパラメータの表示

- サイズ 属性のサイズを示します。
- 値 レポートされた/受け入れられた値の有効な範囲。
- ユーザー モード アクセス 属性が読み取り専用か読み取り/書き込みかどうかを定義します。

インベントリ コマンド構成

表10 インベントリコマンド構成

属性番号	属性名	説明	タイプ	サイズ (バイト)	値	既定値	ユーザー モード アクセス		
バイト パラ	バイト パラメータ								
1501	ATT_RFID_TAG_ REPORT_FIRST _SEEN_TIME	ZETI インタフェー スを経由して通知さ れる在庫タグの最初 に表示されるタイム スタンプフィール ドを有効または無効 にします。	'Β'	1	0~1 (0: 無効 1: 有効)	1	RW		
1502	ATT_RFID_TAG_ REPORT_LAST_ SEEN_TIME	ZETI インタフェース を経由して通知され る在庫タグの最後に 表示される [timestamp] フィール ドを有効または無効 にします	ʻB'	1	0 ~ 1 (0: 無効 1: 有効)	0	RW		
1503	ATT_RFID_TAG_ REPORT_CPC	ZETI インタフェー スを経由して通知さ れる在庫タグの [Protocol Control] フィールドを有効ま たは無効にします	ʻB'	1	0 ~ 1 (0: 無効 1: 有効)	0	RW		
1504	ATT_RFID_TAG_ REPORT_RSSI	ZETI インタフェー スを経由して通知さ れる在庫タグの [RSSI] フィールドを 有効または無効にし ます	ʻB'	1	0 ~ 1 (0: 無効 1: 有効)	1	RW		
1505	ATT_RFID_TAG_ REPORT_PHAS E	ZETI インタフェー スを経由して通知さ れる在庫タグの [phase difference] フ ィールドを有効また は無効にします	ʻB'	1	0 ~ 1 (0: 無効 1: 有効)	0	RW		
1506	ATT_RFID_TAG_ REPORT_CHAN NEL_INDEX	ZETI インタフェー スを経由して通知さ れる在庫タグの [channel index] フィ ールドを有効または 無効にします	'В'	1	0 ~ 1 (0: 無効 1: 有効)	0	RW		
1507	ATT_RFID_TAG_ REPORT_TAG_ SEEN_COUNT	ZETI インタフェー スを経由して通知さ れる在庫タグの [tag seen count] フィール ドを有効または無効 にします	ʻB'	1	0~1 (0: 無効 1: 有効)	1	RW		

属性番号	属性名	説明	タイプ	サイズ (バイト)	値	既定値	ユーザー モード アクセス
1509 (米国のみ)	ATT_RFID_ANT_ IP_INDEX	使用する無線接続プ ロファイルの索引	'В'	1	0 ~ 35 (0: DivideRatio: 8、BDR: 60000, M: M4、FLM: PR_ASK、PIE: 1500、MinTari: 25000、MaxTari: 25000、StepTari: 0、	0	RW
					1: DivideRatio: 8, BDR: 640000, M: FM0, FLM: PR_ASK, PIE: 1500, MinTari: 6250, MaxTari: 6250, StepTari: 0,		
					2: DivideRatio: 8, BDR: 640000, M: FM0, FLM: PR_ASK, PIE: 2000, MinTari: 6250, MaxTari: 6250, StepTari: 0,		
					3: DivideRatio: 8, BDR: 120000, M: M2, FLM: PR_ASK, PIE: 1500, MinTari: 25000, MaxTari: 25000, StepTari: 0,		
					4: DivideRatio: 8, BDR: 120000, M: M2, FLM: PR_ASK, PIE: 1500, MinTari: 12500, MaxTari: 23000, StepTari: 2100,		
					5: DivideRatio: 8, BDR: 120000, M: M2, FLM: PR_ASK, PIE: 2000, MinTari: 25000, MaxTari: 25000, StepTari: 0,		
					6: DivideRatio: 8, BDR: 120000, M: M2, FLM: PR_ASK, PIE: 2000, MinTari: 12500, MaxTari: 23000, StepTari: 2100,		
					7: DivideRatio: 8, BDR: 128000, M: M2, FLM: PR_ASK, PIE: 1500, MinTari: 25000, MaxTari: 25000, StepTari: 0,		
					8: DivideRatio: 8, BDR: 128000, M: M2, FLM: PR_ASK, PIE: 1500, MinTari: 12500, MaxTari: 23000, StepTari: 2100,		
					9: DivideRatio: 8, BDR: 128000, M: M2, FLM: PR_ASK, PIE: 2000, MinTari: 25000, MaxTari: 25000, StepTari: 0,		
					10: DivideRatio: 8、BDR: 128000、 M: M2、FLM: PR_ASK、PIE: 2000、MinTari: 12500、MaxTari: 23000、StepTari: 2100、		
					11: DivideRatio: 8, BDR: 160000, M: M2, FLM: PR_ASK, PIE: 1500, MinTari: 12500, MaxTari: 18800, StepTari: 2100,		
					12: DivideRatio: 8, BDR: 160000, M: M2, FLM: PR_ASK, PIE: 2000, MinTari: 12500, MaxTari: 18800, StepTari: 2100,		
					13: DivideRatio: 8, BDR: 60000, M: M4, FLM: PR_ASK, PIE: 1500, MinTari: 25000, MaxTari: 25000, StepTari: 0,		
					14: DivideRatio: 8, BDR: 60000, M: M4, FLM: PR_ASK, PIE: 1500, MinTari: 12500, MaxTari: 23000, StepTari: 2100,		
					15: DivideRatio: 8、BDR: 60000、 M: M4、FLM: PR_ASK、PIE: 2000、MinTari: 25000、MaxTari: 25000、StepTari: 0、		
					16: DivideRatio: 8, BDR: 60000, M: M4, FLM: PR_ASK, PIE: 2000, MinTari: 12500, MaxTari: 23000, StepTari: 2100,		

属性番号	属性名	説明	タイプ	サイズ (バイト)	値	既定値	ユーザー モード アクセス
1509 (続き)	ATT_RFID_ANT_ IP_INDEX	使用する無線接続プ ロファイルの索引	'В'	1	17: DivideRatio: 8、BDR: 64000、 M: M4、FLM: PR_ASK、PIE: 1500、MinTari: 25000、MaxTari: 25000、StepTari: 0、	0	RW
					18: DivideRatio: 8, BDR: 64000, M: M4, FLM: PR_ASK, PIE: 1500, MinTari: 12500, MaxTari: 23000, StepTari: 2100,		
					19: DivideRatio: 8, BDR: 64000, M: M4, FLM: PR_ASK, PIE: 2000, MinTari: 25000, MaxTari: 25000, StepTari: 0,		
					20: DivideRatio: 8, BDR: 64000, M: M4, FLM: PR_ASK, PIE: 2000, MinTari: 12500, MaxTari: 23000, StepTari: 2100,		
					21: DivideRatio: 8、BDR: 80000、 M: M4、FLM: PR_ASK、PIE: 1500、MinTari: 12500、MaxTari: 18800、StepTari: 2100、		
					22: DivideRatio: 8, BDR: 80000, M: M4, FLM: PR_ASK, PIE: 2000, MinTari: 12500, MaxTari: 18800, StepTari: 2100,		
					23: 自動プロファイル、		
					24: DivideRatio: 8、BDR: 320000、 M: FM0、FLM: PR_ASK、PIE: 1500、MinTari: 12500、MaxTari: 18800、StepTari: 2100		
					25: DivideRatio: 8、BDR: 320000、 M: FM0、FLM: PR_ASK、PIE: 2000、MinTari: 12500、MaxTari: 18800、StepTari: 2100、		
					26: DivideRatio: 8、BDR: 30000、 M: M8、FLM: PR_ASK、PIE: 1500、MinTari: 25000、MaxTari: 25000、StepTari: 0、		
					27: DivideRatio: 8、BDR: 30000、M: M8、FLM: PR_ASK、 PIE: 1500、MinTari: 12500、 MaxTari: 23000、StepTari: 2100、		
					28: DivideRatio: 8, BDR: 30000, M: M8, FLM: PR_ASK, PIE: 2000, MinTari: 25000, MaxTari: 25000, StepTari: 0,		
					29: DivideRatio: 8, BDR: 30000, M: M8, FLM: PR_ASK, PIE: 2000, MinTari: 12500, MaxTari: 23000, StepTari: 2100,		
					30: DivideRatio: 8、BDR: 32000, M: M8、FLM: PR_ASK、PIE: 1500、MinTari: 25000、MaxTari: 25000、StepTari: 0、		
					31: DivideRatio: 8, BDR: 32000, M: M8, FLM: PR_ASK, PIE: 1500, MinTari: 12500, MaxTari: 23000, StepTari: 2100,		
					32: DivideRatio: 8, BDR: 32000, M: M8, FLM: PR_ASK, PIE: 2000, MinTari: 25000, MaxTari: 25000, StepTari: 0,		
					33: DivideRatio: 8, BDR: 32000, M: M8, FLM: PR_ASK, PIE: 2000, MinTari: 12500, MaxTari: 23000, StepTari: 2100,		

属性番号	属性名	説明	タイプ	サイズ (バイト)	値	既定値	ユーザー モード アクセス
1509 (続き)	ATT_RFID_ANT_ IP_INDEX	使用する無線接続プ ロファイルの索引	'В'	1	34: DivideRatio: 8, BDR: 40000, M: M8, FLM: PR_ASK, PIE: 1500, MinTari: 12500, MaxTari: 18800, StepTari: 2100,	0	RW
					35: DivideRatio: 8, BDR: 40000, M: M8, FLM: PR_ASK, PIE: 2000, MinTari: 12500, MaxTari: 18800, StepTari: 2100)		
1510	ATT_RFID_ANT_ SELECT	エア インタフェース レベルのタグ選択 (プリフィルタ)を 有効または無効にし ます	'B'	1	0~1 (0: 無効 1: 有効)	0	RW
WORD パラ	メータ						
1623	ATT_RFID_ANT ENNA_POWER	RF 送信の出力レベル (10 dBm 単位)	'W'	2	0 ~ 300	270dBm	RW
DWORD パー	ラメータ						
1643	ATT_RFID_ANT ENNA_TARI	Tari 値、ナノ秒単位	ʻD'	4	0 ~ 4294967295 (次のいずれか の値: 6250 12500 14600 16700 18800 20900 23000 25000)	0	RW

タグ選択構成

表 11 タグ選択構成

属性番号	属性名	説明	タイプ	サイズ (バイト)	値	既定値	ユーザー モード アクセス
バイト パラ	メータ						
1511	ATT_RFID_TAG_SELE CT_1_ENABLE	[select filter 1] を 有効または無効 にします	'В'	1	0 ~ 1 (0: 無効 1: 有効)	0	RW
1512	ATT_RFID_TAG_SELE CT_1_TARGET	[select filter 1] の ターゲット	'В'	1	0 ~ 4 (0: セッション S0 1: セッション S1 2: セッション S2 3: セッション S3 4: フラグの選択)	2	RW
1513	ATT_RFID_TAG_SELE CT_1_ACTION	[select filter 1] の アクション	'В'	1	0 ~ 7 (「アクション値」 セクション、表 14を 参照してください)	0	RW
1514	ATT_RFID_TAG_SELE CT_1_MEMBANK	[select filter 1] の メモリ バンク	'B'	1	0 ~ 3 (0: 予約済み 1: EPC 2: TID 3: ユーザー)	1	RW
1515	ATT_RFID_TAG_SELE CT_1_TRUNCATE	[select filter 1] の 切り詰められた 返信を有効また は無効にします	'В'	1	0 ~ 1 (0: 無効 1: 有効)	0	RW

属性番号	属性名	説明	タイプ	サイズ (バイト)	値	既定値	ユーザー モード アクセス
1516	ATT_RFID_TAG_SELE CT_1_LENGTH	[select filter 1] の 選択マスクに使 用する一致パタ ーンの開始から のビット数	ʻB'	1	0 ~ 255	16	RW
1517	ATT_RFID_TAG_SELE CT_2_ENABLE	[select filter 2] を 有効または無効 にします	'В'	1	0 ~ 1 (0: 無効 1: 有効)	0	RW
1518	ATT_RFID_TAG_SELE CT_2_TARGET	[select filter 2] の ターゲット	'B'	1	0 ~ 4 (0: セッション S0 1: セッション S1 2: セッション S2 3: セッション S3 4: フラグの選択)	2	RW
1519	ATT_RFID_TAG_SELE CT_2_ACTION	[select filter 2] の アクション	'В'	1	0 ~ 7 (「アクション値」 セクション、表 14を 参照してください)	0	RW
1536	ATT_RFID_TAG_SELE CT_2_MEMBANK	[select filter 2] の メモリ バング	'В'	1	0~3 (0:予約済み 1:EPC 2:TID 3:ユーザー)	1	RW
1537	ATT_RFID_TAG_SELE CT_2_TRUNCATE	[select filter 2] の 切り詰められた 返信を有効また は無効にします	'В'	1	0 ~ 1 (0: 無効 1: 有効)	0	RW
1538	ATT_RFID_TAG_SELE CT_2_LENGTH	[select filter 2] の 選択マスクに使 用する一致パタ ーンの開始から のビット数	'В'	1	0 ~ 255	16	RW
1539	ATT_RFID_TAG_SELE CT_3_ENABLE	[select filter 3] を 有効または無効 にします	'B'	1	0 ~ 1 (0: 無効 1: 有効)	0	RW
1540	ATT_RFID_TAG_SELE CT_3_TARGET	[select filter 3] の ターゲット	ʻB'	1	0 ~ 4 (0: セッション S0 1: セッション S1 2: セッション S2 3: セッション S3 4: フラグの選択)	2	RW
1541	ATT_RFID_TAG_SELE CT_3_ACTION	[select filter 3] の アクション	'В'	1	0 ~ 7 (「アクション値」 セクション、表 14を 参照してください)	0	RW
1542	ATT_RFID_TAG_SELE CT_3_MEMBANK	[select filter 3] の メモリ バンク	ʻB'	1	0~3 (0:予約済み 1:EPC 2:TID 3:ユーザー)	1	RW
1543	ATT_RFID_TAG_SELE CT_3_TRUNCATE	[select filter 3] の 切り詰められた 返信を有効また は無効にします	'В'	1	0 ~ 1 (0: 無効 1: 有効)	0	RW

属性番号	属性名	説明	タイプ	サイズ (バイト)	値	既定値	ユーザー モード アクセス
1544	ATT_RFID_TAG_SELE CT_3_LENGTH	[select filter 3] の 選択マスクに使 用する一致パタ ーンの開始から のビット数	'В'	1	0 ~ 255	16	RW
1545	ATT_RFID_TAG_SELE CT_4_ENABLE	[select filter 4] を 有効または無効 にします	'В'	1	0 ~ 1 (0: 無効 1: 有効)	0	RW
1546	ATT_RFID_TAG_SELE CT_4_TARGET	[select filter 4] の ターゲット	ʻB'	1	0 ~ 4 (0: セッション S0 1: セッション S1 2: セッション S2 3: セッション S3 4: フラグの選択)	2	RW
1547	ATT_RFID_TAG_SELE CT_4_ACTION	[select filter 4] の アクション	'В'	1	0 ~ 7 (「アクション 値」セクション、 表 14を参照してくだ さい)	0	RW
1548	ATT_RFID_TAG_SELE CT_4_MEMBANK	[select filter 4] の メモリ バンク	'В'	1	0 ~ 3 (0: 予約済み 1: EPC 2: TID 3: ユーザー)	0	RW
1549	ATT_RFID_TAG_SELE CT_4_TRUNCATE	[select filter 4] の 切り詰められた 返信を有効また は無効にします	'В'	1	0 ~ 1 (0: 無効 1: 有効)	0	RW
1550	ATT_RFID_TAG_SELE CT_4_LENGTH	[select filter 4] の 選択マスクに使 用する一致パタ ーンの開始から のビット数	'В'	1	0 ~ 255	16	RW
WORD パラ	メータ						
1624	ATT_RFID_TAG_SELE CT_1_POINTER	ー致を実行する 必要があるメモ リバンクの先頭 からの開始位置 (単位: ビット)。	'W'	2	0 ~ 512	16	RW
1625	ATT_RFID_TAG_SELE CT_2_POINTER	ー致を実行する 必要があるメモ リバンクの先頭 からの開始位置 (単位: ビット)。	'W'	2	0 ~ 512	16	RW
1626	ATT_RFID_TAG_SELE CT_3_POINTER	ー致を実行する 必要があるメモ リバンクの先頭 からの開始位置 (単位: ビット)。	'W'	2	0 ~ 512	16	RW
1627	ATT_RFID_TAG_SELE CT_4_POINTER	ー致を実行する 必要があるメモ リバンクの先頭 からの開始位置 (単位: ビット)。	'W'	2	0 ~ 512	16	RW

属性番号	属性名	説明	タイプ	サイズ (バイト)	値	既定値	ユーザー モード アクセス
文字列パラン	メータ				-		
1650	ATT_RFID_TAG_SEL_ 1_MASK	[select filter 1] の マスク	ʻS'	34	変数 (バイトのシーケ ンス。最大 34 バイト)	NULL 文字列 (0x00,0x00,0x00, 0x00,0x00,0x00, 0x00,0x00,0x00, 0x00,0x00,0x00, 0x00,0x00,0x00, 0x00,0x00,0x00, 0x00,0x00,0x00, 0x00,0x00,0x00, 0x00,0x00,0x00, 0x00,0x00,0x00, 0x00,0x00,0x00, 0x00,0x00,0x00, 0x00,0x00)	RW
1651	ATT_RFID_TAG_SEL_ 2_MASK	[select filter 2] の マスク	ʻS'	34	変数 (バイトのシーケ ンス。最大 34 バイト)	NULL 文字列 (0x00,0x00,0x00, 0x00,0x00,0x00, 0x00,0x00,0x00, 0x00,0x00,0x00, 0x00,0x00,0x00, 0x00,0x00,0x00, 0x00,0x00,0x00, 0x00,0x00,0x00, 0x00,0x00,0x00, 0x00,0x00,0x00, 0x00,0x00,0x00, 0x00,0x00,0x00)	RW
1652	ATT_RFID_TAG_SEL_ 3_MASK	[select filter 3] の マスク	ʻS'	34	変数 (バイトのシーケ ンス。最大 34 バイト)	NULL 文字列 (0x00,0x00,0x00, 0x00,0x00,0x00, 0x00,0x00,0x00, 0x00,0x00,0x00, 0x00,0x00,0x00, 0x00,0x00,0x00, 0x00,0x00,0x00, 0x00,0x00,0x00, 0x00,0x00,0x00, 0x00,0x00,0x00, 0x00,0x00,0x00, 0x00,0x00,0x00,0x00, 0x00,0x00,0x00)	RW
1653	ATT_RFID_TAG_SEL_ 4_MASK	[select filter 4] の マスク	ʻS'	34	変数 (バイトのシー ^ケ ンス。最大 34 バイト)	NULL 文字列 (0x00,0x00,0x00, 0x00,0x00,0x00, 0x00,0x00,0x00, 0x00,0x00,0x00, 0x00,0x00,0x00, 0x00,0x00,0x00, 0x00,0x00,0x00, 0x00,0x00,0x00, 0x00,0x00,0x00, 0x00,0x00,0x00, 0x00,0x00,0x00, 0x00,0x00,0x00,	RW

タグ クエリ構成

表 12 タグ クエリ構成

属性番号	属性名	説明	タイプ	サイズ (バイト)	値	既定値	ユーザー モード アクセス	
バイト パラメータ								
1551	ATT_RFID_TAG_QU ERY_SELECT	クエリが適用さ れるタグをフィ ルタするタグの SL フラグの状態	ʻB'	1	0~3 (0:すべてのタ グにすべてのタ クエリ 1: 2:SLがアサー ト解ダグにエリ 3:SLがアサー トさい適用 3:SLがアサー トさい適用 うたいるる クエリ)	0	RW	
1552	ATT_RFID_TAG_QU ERY_SESSION	クエリが適用さ れるセッション	ʻB'	1	10 ~ 3 (0: セッ ション S0 1: セッション S1 2: セッション S2 3: セッション S3)	1	RW	
1553	ATT_RFID_TAG_QU ERY_TARGET	タトイン タイプン タイプン タイプン ない、 なた ない、 なた なた のの ない、 ない ない ない ない ない ない た なの た なの た なの た なの た なの た なの た なの た なの た なの た なの た なの た なの た なの た なの た なの た なの た なの た なの た なの た で の た で の た で の た れ の た の た の た の た の た の た の た の た れ の た の た の た の た の た の た の た れ た れ の う の た の た れ た れ う の う の た い た れ ろ の う の う の た の た ろ の う ろ の う の ち が う か う の う の う の う の う の う の う の う の う の う の う の う の う の う の う の う の ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ	ʻB'	1	0 ~ 2 (0: 在庫タ ーゲット フラ グ A 1: 在庫ターゲッ ト フラグ B 2: AB flip)	0	RW	
DWORD パ	ラメータ							
1644	ATT_RFID_TAG_PO PULATION	リーダーが動作 している間にデ フォルトでフィ ールドに想定さ れるタグ入力	'D'	4	0 ~ 4294967295	30	RW	

タグ アクセス構成

表 13 タグ アクセス構成

属性番号	属性名	説明	タイプ	サイズ (バイト)	値	既定值	ユーザー モード アクセス
バイトパラ	メータ	I				1	•
1554	ATT_RFID_TAG_A CCESS_CRITERIA_ IDX	アクセス操作中に使 用する基準を選択す るためのアクセス基 準のリストの索引	'В'	1	0~1 (0: 無効 1: 有効)	0	RW
1555	ATT_RFID_TAG_A CCESS_CMD	デフォルトのアクセ ス コマンド識別子	ʻB'	1	0 -255 (7: Read 8: Write 9: Lock 10: Kill 11: Block Erase 12: Block Perma Lock)	7	RW
1556	ATT_RFID_TAG_R EAD_MEMBANK	読み取るメモリバン ク。[Read] アクセス 操作に適用され ます。	'B'	1	0~3 (0:予約済み 1:EPC 2:TID 3:ユーザー)	3	RW
1557	ATT_RFID_TAG_R EAD_LENGTH	読み取るワード数。 0 は、バンク内のす べてのデータを意味 します。	'В'	1	0 ~ 64	0	RW
1558	ATT_RFID_TAG_W RITE_MEMBANK	書き込むメモリバン ク。書き込みアクセ ス操作に適用され ます。	'B'	1	0~3 (0:予約済み 1:EPC 2:TID 3:ユーザー)	3	RW
1559	ATT_RFID_TAG_W RITE_DOBLOCK_W RITE	[Write] アクセス操作 の実行中に [Block Write] 操作を実行し ます。	'В,	1	0 ~ 1 (0: [Write] 操作に [Block Write] を 実行しません 1: [Write] 操作に [Block Write] を 実行します)	0	RW
1560	ATT_RFID_TAG_BL OCK_ERASE_MEM BANK	[Block Erase] 用のメ モリバンク。[Block Erase] アクセス操作 に適用されます。	'В'	1	0~3 (0:予約済み 1:EPC 2:TID 3:ユーザー)	3	RW
1561	ATT_RFID_TAG_BL OCK_ERASE_LEN GTH	消去するワード数。	'В'	1	1 ~ 128	1	RW
1562	ATT_RFID_TAG_BL OCK_PERMA_DOL OCK	[Block Perma Lock] を 実行または現在の [Perma Lock] ステー タスを読み取り	ʻB'	1	0 ~ 1 (0: [Block Perma Lock] ステータスの 読み取り 1: [Block Perma Lock] の実行	0	RW

属性番号	属性名	説明	タイプ	サイズ (バイト)	値	既定値	ユーザー モード アクセス
1563	ATT_RFID_TAG_BL OCK_PERMA_MEM BANK	[Block Perma Lock] 操 作を実行する必要が あるメモリバンク	'B'	1	0~3 (0:予約済み 1:EPC 2:TID 3:ユーザー)	3	RW
1565	ATT_RFID_TAG_BL OCK_PERMA_LOC K_BLKRANGE	16 ブロック単位での [Block Perma Lock] マ スク範囲	'B'	1	0 ~ 255	1	RW
WORD パラ	メータ						
1564	ATT_RFID_TAG_BL OCK_PERMA_LOC K_BLKPTR	16 ブロック単位での blockmask の開始ア ドレス	'W'	2	0 ~ 65535	0	RW
1628	ATT_RFID_TAG_R EAD_OFFSET	読み取り操作を開始 する必要があるデー タバンクの先頭から のオフセットのワー ド数。	'W'	2	0 ~ 65535	0	RW
1629	ATT_RFID_TAG_W RITE_OFFSET	書き込み操作を開始 する必要があるデー タ バンクの先頭から のオフセットのワー ド数。	'W'	2	0 ~ 65535	0	RW
1630	ATT_RFID_TAG_BL OCK_ERASE_OFF SET	ブロック消去操作を 開始する必要がある データバンクの先頭 からのオフセットの ワード数。	'W'	2	0 ~ 65535	0	RW
文字列パラン	メータ						
1654	ATT_RFID_TAG_W RITE_DATA_BUF	タグ書き込みアクセ ス操作に書き込まれ るデータ	ŝ	34	変数 (バイトの シーケンス。 最大34 バイト)	NULL 文字列 (0x00,0x00,0x00,0x00,0x 00,0x00,0x00,0x	RW
1684	ATT_RFID_TAG_BL OCK_PERMA_LOC K_BLKMASK		ŝ	32	変数 (バイトの シーケンス。 最大 32 バイト)	NULL 文字列 (0x00,0x00,0x00,0x00,0x 00,0x00,0x00,0x	RW
1655	ATT_RFID_TAG_LO CK_MASK	タグ ロック操作のマ スク値	ʻS'	5	変数 (バイトの シーケンス。 最大 5 バイト)	0x07,0x07,0x07,0x07,0 x07	RW
DWORD パ	ラメータ			1	1		
1645	ATT_RFID_TAG_A CCESS_PWD	アクセス操作のパス ワード	'D'		0 ~ 4294967295	0	RW

リージョン構成

表14 リージョン構成

属性番号	属性名	説明	タイプ	サイズ (バイト)	値	既定値	ユーザー モード アクセス				
バイト パラ	バイト パラメータ										
1581	ATT_RFID_REGION_ SKU	RFID 規制識別子	'B'	1	0 ~ 255	1	RW				
1582	ATT_RFID_REGION_ DEV_NAME		'B'	1	0 ~ 255		RW				

属性番号	属性名	説明	タイプ	サイズ (バイト)	値	既定値	ユーザー モード アクセス
1583	ATT_RFID_REGION_ CODE	装置 た 稼働 さ せる 国 に は この 選 よ り 異 な り ま す 。 よ り 異 な り ま す 。	.В.	1	0~255{ 0:NO_REGION_SET 1:アルン 2:アルーン 5:パブーリア 5:パブーリア 5:パブーリア 5:パブーリア 5:パブーリア 5:パブーリア 7:ボスラデアル 9:ブカン 9:アアルーン 9:アアルーン 9:アアルーン 11: 11:ドエ 9:ブカン 11: 11:ドエ 9: 11: 11: 11: 11: 11: 11: 11: 11: 11:		

属性番号	属性名	説明	タイプ	サイズ (バイト)	値	既定値	ユーザー モード アクセス
					73: TTP 74: TP 75: $7 + TP$ 75: $7 + TP$ 76: $7 + TP$ 77: $7 + TP$ 77: $7 + TP$ 77: $7 + TP$ 77: $7 + TP$ 79: $7 + TP$ 80: $7 + TP$ 80: $7 + TP$ 80: $7 + TP$ 81: $7 + TP$ 82: $7 + TP$ 83: $4 + TP$ 84: $4 + TP$ 85: $7 + TP$ 83: $4 + TP$ 84: $4 + TP$ 85: $7 + TP$ 85: $7 + TP$ 85: $7 + TP$ 87: $7 + TP$ 89: $7 + TP$ 89: $7 + TP$ 89: $7 + TP$ 89: $7 + TP$ 90: $7 + TP$ 91: $7 + TP$ 92: $7 + TP$ 94: $7 + TP$ 95: $7 + TP$ 95: $7 + TP$ 97: $1 + TP$ 97: $1 + TP$ 97: $1 + TP$ 101: $2 + TP$ 102: $2 + TP$ 103: $2 + TP$ 105: $7 + TP$ 107:	0	RW
1584	ATT_RFID_HOPPING _ENABLED	チャネル ホッピン グを有効にしま す。規制で構成可 能な場合のみ適用 されます。	'В'	1	0 -1 (0: 無効 1: 有効)	1	RW
DWORD パ	ラメータ						
1647	ATT_RFID_REG_CH NL_LOWER_MASK	有効にされている チャネルのビット マスク。最小有効 ビットは、最下位 のチャネルを表し ます。	,D,	4	0 ~ 4294967295	0x000f	RW
1648	1648 ATT_RFID_REG_CH NL_UPPER_MASK		'D'	4	0 ~ 4294967295	0x0000	RW

周辺機器構成

表 15 周辺機器構成

属性番号	属性名	説明	タイプ	サイズ (バイト)	値	既定値	ユーザー モード アクセス				
バイト パラ	バイト パラメータ										
1607	ATT_RFID_UUID_CO NFIG_ORDER	UUID の順序を決 定します	'B'	1	0 ~ 1 (0: 最初に SPP UUID を構成 1: 最初に CUSTOM UUID を構成)	1	RW				

トリガー構成

表 16 トリガー構成

属性番号	属性名	説明	タイプ	サイズ (バイト)	値	既定値	ユーザー モード アクセス
バイト パラ	メータ						
1593	ATT_RFID_START_ ON_TRIGGER	外部ハンドヘルド トリガーに基づい て RFID 操作の開 始を制御します	'В'	1	0 ~ 1 (0: 無効 1: 有効)	0	RW
1594	ATT_RFID_START_ TRIGGER_TYPE	トリガーを押すま たは解除すること で操作の開始を制 御します	'В'	1	0~1(0: トリガーを押すと 開始 1: トリガーを解除すると 開始)	0	RW
1595	ATT_RFID_REPEA T_START	トリガーウン リガーク リガンク レーク レーク レク レク レク レク レク レク レク レク レク レク レク レク レク	'В'	1	0~1(0:トリガー開始モニ タリングを繰り返します 1:トリガー開始を繰り返し ません)	0	RW
1596	ATT_RFID_STOP_ ON_TRIGGER	外部ハンドヘルド トリガーに基づい て RFID 操作の停 止を制御します	'В'	1	0 ~ 1 (0: 無効 1: 有効)	0	RW
1597	ATT_RFID_STOP_ TRIGGER_TYPE	トリガーを押すま たは解除すること で操作の停止を制 御します	'В'	1	0 ~ 1 (0: トリガーを引くと 停止 1: トリガーを解除すると 停止)	0	RW
1598	ATT_RFID_STOP_ ON_TAG_COUNT	タグ認識数に基づ いて RFID 操作の 停止を制御します	'В'	1	0 ~ 1 (0: タグ認識数に基づ いて停止しません 1: タグ認識数に基づいて停 止します)	0	RW
1599	ATT_RFID_STOP_ ON_TIMEOUT	タイムアウトに基 づいて RFID 操作 の停止を制御し ます	'В'	1	0 ~ 1 (0: タイムアウトで停 止しません 1: タイムアウトで停止し ます)	0	RW
1600	ATT_RFID_STOP_ ON_INV_COUNT	指定回数の在庫ラ ウンドの完了に基 づいて RFID 操作 の停止を制御し ます	'В'	1	0 ~ 1 (0: 在庫数に基づいて 停止しません 1: 在庫数に基づいて停止し ます)	0	RW

属性番号	属性名	説明	タイプ	サイズ (バイト)	値	既定値	ユーザー モード アクセス					
WORD パラ	WORD パラメータ											
1635	ATT_RFID_TRIGG ER_START_DELAY	トリガーの開始か ら動作の開始まで のディレイ (ミリ 秒単位) 0 はディレ イなしを意味し ます。	'W'	2	0 ~ 65535	0	RW					
1636	ATT_RFID_STOP_ TAG_COUNT	停止する前に監視 するタグ数。	'W'	2	0 ~ 65535	0	RW					
1637	ATT_RFID_STOP_I NV_COUNT	在庫ラウンドの 回数	'W'	2	0 ~ 65535	0	RW					
DWORD パ [:]	DWORD パラメータ											
1649	ATT_RFID_TRIGG ER_STOP_TIMEOU T	トリガー停止のタ イムアウト値	'D'	4	0 ~ 4294967295	0	RW					

ASCII 構成

表 17 ASCII 構成

属性番号	属性名	説明	タイプ	サイズ (バイト)	値	既定値	ユーザー モード アクセス		
バイト パラメータ									
1601	ATT_RFID_ASCII_EC O_OFF_ON	ホストからの入力が ZETI通信のホストに エコーされるかどう かを制御します端末 ベースのホストが一 に送信される内容を 確認するために便利 です。	'Β'	1	0 ~ 1 (0: ZETI エコーを 有効にする 1: ZETI エコーをオフに する)	1	RW		
1602	ATT_RFID_ASCII_CR C_ON_OFF	ZETI 通信で [CRC] フィールドが有効に されるかどうかを制 御します。有効にさ れている場合、 [CRC] フィールドが リーダーからの各行 に追加されます。	ʻB'	1	0 ~ 1 (0: ZETI CRC を オフにする 1: ZETI CRC を有効に する)	0	RW		
1603	ATT_RFID_ASCII_DE BUG_INTERFACE		'B'	1	0 ~ 255	0	RW		
1604	ATT_RFID_ASCII_DE BUG_ON_OFF		'B'	1	0 ~ 255	0	RW		
1605	ATT_RFID_ASCII_DE BUG_LEVEL		'B'	1	0 ~ 255	3	RW		
1606	ATT_RFID_ASCII_OP ERAND_NOTIFY_ON _OFF	RFID 操作の ZETI インタフェース経由 でリーダーからの動 作終了通知メッセー ジを有効または無効 にします	'В'	1	0 ~ 1 (0: 動作終了 通知をオフにする 1: 動作終了通知を有効 にする)	0	RW		
Data Dictionary

属性番号	属性名	説明	タイプ	サイズ (バイト)	値	既定値	ユーザー モード アクセス
1608	ATT_RFID_ASCII_ST ART_OPR_NOTIFY_ ON_OFF	すべての動作開始後 に ZETI インタフェー ス経由でリーダーか らの通知メッセージを 有効または無効にし ます	'В'	1	0 ~ 1 (0: 動作開始 通知をオフにする 1: 動作開始通知を有効 にする	0	RW
1609	ATT_RFID_ASCII_ST OP_OPR_NOTIFY_O N_OFF	すべての動作停止後 に ZETI インタフェー ス経由でリーダーか らの通知メッセージを 有効または無効にし ます	'B'	1	0 ~ 1 (0: 動作停止 通知をオフにする 1: 動作停止通知を有効 にする)	0	RW
1668	ATT_RFID_ASCII_TR IGGER_NOTIFY_ON_ OFF		'В'	1	0 ~ 1 (0: 通知をオフに する 1: 通知をオンにする)	1	RW
1669	ATT_RFID_ASCII_BA TTERY_NOTIFY_ON _OFF		'В'	1	0 ~ 1 (0: 通知をオフに する 1: 通知をオンにする)	1	RW
1670	ATT_RFID_ASCII_TE MPERATURE_NOTIF Y_ON_OFF		'В'	1	0 ~ 1 (0: 通知をオフに する 1: 通知をオンにする)	1	RW
1671	ATT_RFID_ASCII_PO WER_NOTIFY_ON_O FF		'В'	1	0 ~ 1 (0: 通知をオフに する 1: 通知をオンにする)	0	RW
1680	ATT_RFID_ASCII_DA TABASE_NOTIFY_O N_OFF		'В'	1	0 ~ 1 (0: 通知をオフに する 1: 通知をオンにする)	0	RW
1681	ATT_RFID_ASCII_RA DIO_ERR_NOTIFY_O N_OFF		'В'	1	0 ~ 1 (0: 通知をオフに する 1: 通知をオンにする)	0	RW
1685	ATT_RFID_ASCII_BA TCH_MODE_NOTIFY _ON_OFF		'В'	1	0 ~ 1 (0: 通知をオフに する 1: 通知をオンにする)	1	RW

タグ アクセス基準構成

表18 タグアクセス基準構成

属性番号	属性名	説明	タイプ	サイズ (バイト)	値	既定値	ユーザー モード アクセス
バイト パラ	メータ						
1610	ATT_RFID_ACCESS1 _ENABLE	RFID アクセス操作 フィルタを有効また は無効にします	ʻB'	1	0~1(0:アクセ スフィルタを無 効にする 1:アクセス フィルタを有効 にする)		
1611	ATT_RFID_ACCESS1 _FILTER1_MEMBANK	最初のフィルタのメ モリ バンク	'В'	1	0 ~ 3 (0: 予約 済み 1: EPC 2: TID 3: ユーザー)	3	RW
1612	ATT_RFID_ACCESS1 _FILTER1_DOMATCH	フィルタに一致する タグまたはフィルタ に一致しないタグの どちらで動作を実行 するかを設定します	'В'	1	0~1(0:アクセ スフィルタを 無効にする 1:フィルタの一 致を有効にする)	0	RW
1613	ATT_RFID_ACCESS1 _FILTER2_MEMBANK	第 2 フィルタ用メモ リ バンク	'В'	1	0 ~ 3 (0: 予約 済み 1: EPC 2: TID 3: ユーザー)	3	RW
1614	ATT_RFID_ACCESS1 _FILTER2_DOMATCH	フィルタに一致する タグまたはフィルタ に一致しないタグの どちらで動作を実行 するかを設定します	ʻB'	1	0~1(0:アクセ スフィルタを 無効にする 1:フィルタの一 致を有効にする)	0	RW
WORD パラ	メータ			•	•		
1638	ATT_RFID_ACCESS1 _FILTER1_START_ POS	ー致を実行する必要 があるメモリ バンク の先頭からの開始位 置 (単位: ビット)。	'W'	2	0 ~ 65535	0	RW
1639	ATT_RFID_ACCESS1 _FILTER1_MATCH_ LENGTH	ー致に使用する開始 位置からのビット数。	'W'	2	0 ~ 65535	16	RW
1640	ATT_RFID_ACCESS1 _FILTER2_START_ POS	ー致を実行する必要 があるメモリ バンク の先頭からの開始位 置 (単位: ビット)。	'W'	2	0 ~ 65535	0	RW
1641	ATT_RFID_ACCESS1 _FILTER2_MATCH_ LENGTH	ー致に使用する開始 位置からのビット数。	'W'	2	0 ~ 65535	16	RW

属性番号	属性名	説明	タイプ	サイズ (バイト)	値	既定値	ユーザー モード アクセス
文字列パラン	メータ						
1659	ATT_RFID_ACCESS1 _FILTER1_DATA		ʻS'	34	変数 (バイトの シーケンス。 最大 34 バイト)	NULL 文字列 (0x00,0x00,0x00,0x00, 0x00,0x00,0x00,0x	RW
1660	ATT_RFID_ACCESS1 _FILTER1_MASK		ʻS'	34	変数 (バイトの シーケンス。 最大 34 バイト)	NULL 文字列 (0x00,0x00,0x00,0x00, 0x00,0x00,0x00,0x	RW
1661	ATT_RFID_ACCESS1 _FILTER2_DATA		ʻS'	34	変数 (バイトの シーケンス。 最大 34 バイト)	NULL 文字列 (0x00,0x00,0x00,0x00, 0x00,0x00,0x00,0x	RW
1662	ATT_RFID_ACCESS1 _FILTER2_MASK		'S'	34	変数 (バイトの シーケンス。 最大 34 バイト)	NULL 文字列 (0x00,0x00,0x00,0x00, 0x00,0x00,0x00,0x	RW

Data Dictionary

Locate Tag 構成

表 19 Locate Tag 構成

属性番号	属性名	説明	タイプ	サイズ (バイト)	値	既定値	ユーザー モード アクセス
文字列パラン	メータ						
1663	ATT_RFID_LOCATE_ EPCID		ʻSʻ	66	変数 (バイト のシーケン ス。最大 66 バイト)	NULL 文字列 (0x00,0x00,0x00,0x00,0x00,0x00,0x0 0,0x00,0x00,0x00,0x00,0x00,0x0 00,0x00,0x00,0x00,0x00,0x00,0x0 0,0x00,0x00,0x00,0x00,0x00,0x0 0,0x00,0x00,0x00,0x00,0x00,0x0 0,0x00,0x00,0x00,0x00,0x00,0x0 0,0x00,0x00,0x00,0x00,0x00,0x0 0,0x00,0x00,0x00,0x00,0x00,0x0 0,0x00,0x00,0x00,0x00,0x00,0x0 0,0x00,0x00,0x00,0x00,0x00,0x0 0,0x00,0x00,0x00,0x00,0x00,0x0 0,0x00,0x00,0x00,0x00,0x00,0x0 0,0x00,0x00,0x00,0x00,0x00,0x0 0,0x00,0x00,0x00,0x00,0x00,0x0 0,0x00,0x00,0x00,0x00,0x00,0x0 0,0x0	RW

Dynamic Power 構成

表 20 Dynamic Power 構成

属性番号	属性名	説明	タイプ	サイズ (バイト)	値	既定値	ユーザー モード アクセス		
バイト パラメータ									
1676	ATT_GENX_DYN_PW R_OPTIMIZATION	RFID 操作中に Dynamic Power Optimization を有効ま たは無効にします	'В'	1	0 ~ 1 (0: 無効 1: 有効)	1	RW		

デューティ サイクル構成

表 21 デューティ サイクル構成

属性番号	属性名	説明	タイプ	サイズ (バイト)	値	既定値	ユーザー モード アクセス	
バイト パラメータ								
1677	ATT_GENX_DUTY_C YCLE_PERCENT	リーダーの動作中 RF がオンになっている 時間の公称パーセント	'B'	1	0 ~ 100	100%	RW	

電力モード構成

表 22 電力モード構成

属性番号	属性名	説明	タイプ	サイズ (バイト)	値	既定値	ユーザー モード アクセス
バイト パラ	メータ	·					
1765	ATT_BATT_DISCON NECT_EN	タイムアウト後にデ バイスの電源が自動 的にオフになる低電 カモードでのアイド ル タイムアウト	'В'	2	0 - 無効、 26 - 10 分、 27 - 15 分、 28 - 20 分、 29 - 30 分、 30 - 45 秒、 33 - 1 時間、 34 - 2 時間、 34 - 2 時間、 36 - 4 時間、 36 - 4 時間 メモ:上記のタイムア ウトにさらに 5 分 追 加されます (たとえ ば、10 分を選択した 場合はオフ モードへ の移行に 15 分かかり ます)。	35 分	RW
1785	ATT_RFID_LED_ MODE	(「LED モード」セ クション、表 15を 参照してください)	'B'	2	0 ~ 3	1	RW
1786	ATT_RFID_LED_ MODE	トリガーを押したと き、LEDはほぼ時 に "点灯 - 1回点滅"し て、パッテリの充電 状態を示す必要があ ります。LEDはデフ ォルトでは0.3秒間 点灯します。この時 間ウィンドウは、 0.1秒から3秒の間で 構成できます。	'Β'	2	1 ~ 30	0.3sec (単位は 10 分の 1 秒です)	RW
1788	ATT_BATTERY_ STATUS_LED_ DURATION	LED モードに関係な く、スレッドを充電 クレードルから取り 外すと、バッテリの 充電状態が表示され ます	'В'	2	0~50秒	4秒	RW
WORD パラ	メータ	•					
1632	ATT_RFID_LOW_ POWER_MODE_ TIMEOUT	タイムアウト後に装 置が低電力モードに なるアイドル タイム アウト	'W'	2	5 ~ 65535	5分	RW
1633	ATT_RFID_OFF_ MODE_TIMEOUT	タイムアウト後にデ バイスの電源が自動 的にオフになる低電 カモードでのアイド ル タイムアウト	'W'	2	5 ~ 65535	300 秒	RW

[Unique Tag Reporting]

表 23 [Unique Tag Reporting]

属性番号	属性名	説明	タイプ	サイズ (バイト)	値	既定値	ユーザー モード アクセス	
バイトパラメータ								
1580	ATT_RFID_UNIQUE_ TAG_REPORT	ユニーク タグのみの レポートを有効また は無効にします	'B'	1	0 ~ 1 (0: 無効 1: 有効)	0	RW	

その他の RFID 構成

表 24 その他の RFID 構成

属性番号	属性名	説明	タイプ	イズト) イイト)	値	既定値	ユーザー モード アクセス
バイト パラメータ							
1615	ATT_RFID_BUFFER_SIZE		'B'	1	6 ~ 50	10	RW
1616	ATT_RFID_INV_CYCLES		'B'	1	0 ~ 255	4	RW
1617	ATT_RFID_KTX		'B'	1	0 ~ 255	4	RW
1618	ATT_RFID_KS		'B'	1	0 ~ 255	5	RW

システム構成

表 25 システム構成

属性番号	属性名	説明	タイプ	サイズ (バイト)	値	既定値	ユーザー モード アクセス	
ビット パラ	メータ							
1664	ATT_GENX_MODE_SELECT	RFID モード	'F'	1ビット	0 (0: RFID)	0	RW	
56	ATT_DEC_BEEP	正常な RFID 操作 の後でビープ音が 鳴ります	'F'	1ビット	0 ~ 1	1	RW	
文字列バラメータ								
533	ATT_MODEL_NUMBER	モデル番号	ʻS'	19	変数 (バイトの シーケン ス。最大 19 バイト)	'R','F','D','2','0','0','0','-','X', 'X', 'X','X','X','X','X','X','X',	RO	
534	534ATT_SERIAL_NUMBER	シリアル番号	ʻS'	17	変数 (バイトの シーケン ス。最大 17 バイト)	'X','X','X','X','X','X','X','X',' X.'X', 'X','X','X','X','X'	RO	
535	ATT_DATE_OF_ MANUFACTURE	製造日	ʻS'	8	変数 (バイトの シーケン ス。最大 8 バイト)	'D','D','M','M','M','Y','Y'		

Data Dictionary

属性番号	属性名	説明	タイプ	サイズ (バイト)	値	既定値	ユーザー モード アクセス
536	ATT_DATE_OF_SERVICE	最終サービスの 日付	ʻS'	8	変数 (バイトの シーケン ス。最大 8 バイト)	'D','D','M','M','M','Y','Y'	
614	ATT_DATE_FIRST_ PROGRAM	最初にプログラミ ングした日	ʻS'	8	変数 (バイトの シーケン ス。最大 8 バイト)	'D','D','M','M','M','Y','Y'	RW
616	ATT_CONFIG_FILE	デバイスの構成を 特定します	ʻS'	17	変数 (バイトの シーケン ス。最大 17 バイト)	'F', 'a', 'c', 't', 'o', 'r', 'y', '', 'D', 'e', 'f, 'a', 'u', 'l', 't', 0x03	RW
20004	ATT_FIRM_VERSION	ファームウェア バージョン文字列	'S'				RO
アクション	パラメータ						
6001	ATT_SET_DEFAULTS	パラメータのデフ ォルト コマンドを 開始します	'X'	1			WO
6004	ATT_REBOOT	リモート ロボット コマンド	'X'	1			WO

アクション値

表 26 アクション値の可能な選択肢

操作	一致	不一致
0 (デフォルト)	SL のアサートまたは在庫 - A	SL のアサート解除または在庫 - B
1	SL のアサートまたは在庫 - A	何もしない
2	何もしない	SL のアサート解除または在庫 - B
3	SL の無効化または (A - B、B - A)	何もしない
4	SL のアサート解除または在庫 - B	SL のアサートまたは在庫 - A
5	SL のアサート解除または在庫 - B	何もしない
6	何もしない	SL のアサートまたは在庫 - A
7	何もしない	SL の無効化または (A - B、B - A)

索引

D

data dictionary	 	57

R

RFID Manager
Recovery Mode
インストール
ファームウェアの更新28
RFID スレッド
機能
クリーニング
構成
トラブルシューティング
メンテナンス51

S

StageNow	 	

き

規則 表記
さ サービスに関する情報
し 情報、サービスに関する9
す ストラップ

と

キュメント9
ラブルシューティング54
LED モード 2

は

 	 10
 	 19, 51
 	 19
 	 19
· · · · · ·	

୬

メンテナンス			51
--------	--	--	----



www.zebra.com